

平成 27 年度

深谷市の教育



畠山重忠公史跡公園の畠山重忠像



深谷市教育委員会

畠山重忠

平安時代の終わり頃から鎌倉時代のはじめにかけて活躍した武蔵国を代表する武将です。

畠山重忠公史跡公園

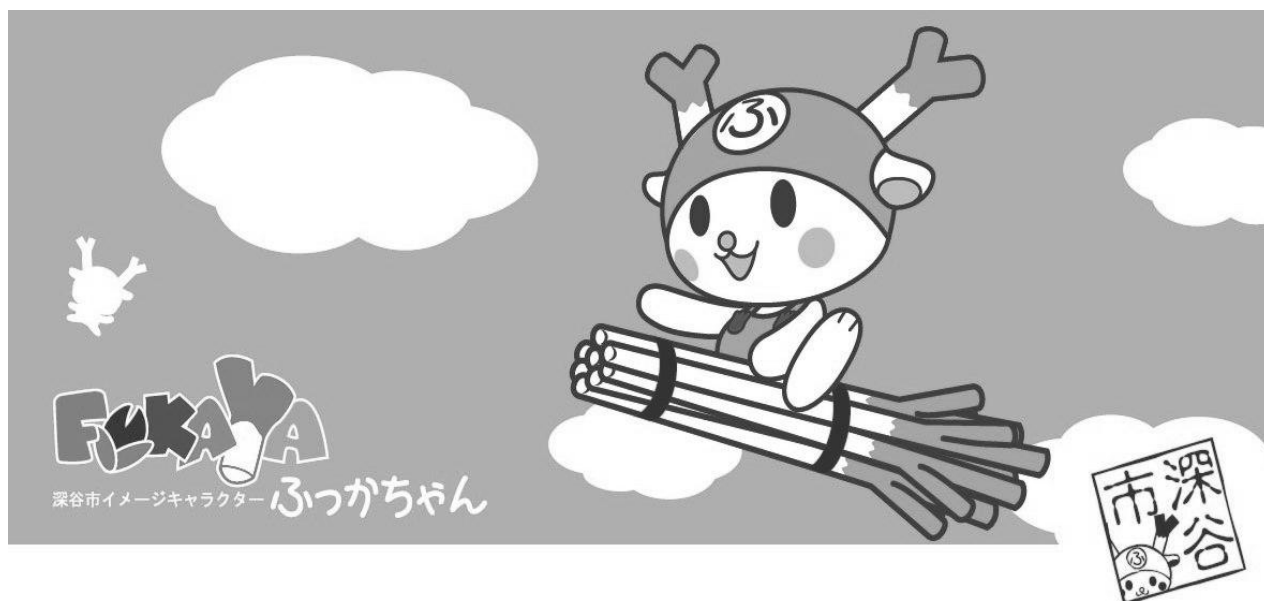
重忠が誕生したと伝わる「畠山館跡」（埼玉県選定重要遺跡）のあった場所が整備され、畠山重忠公史跡公園がつけられました。

産湯の井戸、畠山重忠墓（埼玉県指定史跡）、嘉元二年（一三〇四）銘の石碑（市指定文化財）、重忠を詠んだ芭蕉句碑、重忠の父重能の墓（市指定文化財）などがあります。

有名な逸話で、一の谷の戦いでの「鶴越の逆落とし」の場面で、愛馬「三日月」を背負って坂を下った重忠の雄姿を表した銅像もあります。

目 次

深谷市の概況	1	4. 進路	28
深谷市教育委員会教育長及び委員	2	5. 深谷市立教育研究所	29
I 教 育 行 財 政	3～18	6. 小学校・中学校紹介	32
1. 深谷市が目指す教育の姿	3	7. 幼稚園教育	42
平成 27 年度深谷市教育委員会重点施策	6	III 社 会 教 育	47～65
2. 事務局の組織及び事務分掌	14	1. 深谷市の社会教育の概要	47
3. 事務局及び教育機関職員数	15	2. 重点施策	47
4. 平成 27 年度一般会計予算、教育費（歳出）	15	3. 渋沢栄一記念館・公民館・文化会館紹介	49
5. 平成 27 年度教育費内訳、財源内訳（当初予算）	15	4. 平成 27 年度推進事業一覧	57
6. 教育費（当初予算）	16	5. 重要文化財など	60
7. 児童生徒 1 人当たりの教育費（当初予算）	16	6. 深谷市内所在文化財など件数一覧	64
8. 就学援助状況（平成 26 年度実績）	16	IV 図 書 館	66～71
9. 公立幼稚園保育料減免状況（平成 26 年度実績）	17	1. 施設の概要	66
10. 私立幼稚園就園奨励費補助状況（平成 26 年度実績）	17	2. 図書館運営の基本方針	67
11. 学校給食の状況	17	3. 業務の概要	68
II 学 校 教 育	19～46	4. 分類別蔵書数	71
1. 重点施策	19	5. 平成 26 年度利用状況	71
2. 児童・生徒・教職員数の推移	24	V 社 会 体 育	72～78
深谷市学校教育グランドデザイン	25	1. 社会体育計画の概要	72
3. 学校保健	27	2. 重点施策	72
		3. 平成 27 年度社会体育関係事業	73
		4. 社会体育施設の概要	74



深谷市の概況



(1) 位置と地勢

平成18年1月1日、深谷市、岡部町、川本町、花園町がひとつになり誕生した新「深谷市」は、埼玉県北西部に位置し東京都心から70km 圏にあり、東は熊谷市に、南は嵐山町、寄居町に、西は美里町、本庄市に、北は群馬県の伊勢崎市、太田市に接しています。

また、北部は利根川水系の低地で、南部は秩父山地から流れ出た荒川が扇状台地を形成する平坦な地形となっています。

交通の面では、関越自動車道、国道17号・同深谷バイパス・上武国道、国道140号・同バイパス、国道254号などがあり、広域間の基幹的役割を果たす道路として機能しています。また、地域の玄関口として関越自動車道花園インターチェンジが設置されているほか、嵐山小川、本庄児玉のインターチェンジに近接しています。また、鉄道は JR 高崎線、秩父鉄道の2路線において駅を有するとともに、上越新幹線及び JR 八高線が通過し、上越新幹線本庄早稲田駅にも近接していることから、東京都心方面、上信越方面、秩父方面への交通の要衝となっています。



(2) 人口と面積

平成27年4月1日現在

人 口 (男・女) (人)	世帯数(世帯)	面積(km ²)	人口密度 (人/km ²)
145,406 (男 72,475 女 72,931)	57,143	138.41	1,050

深谷市教育委員会教育長及び委員

深谷市教育委員会は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律（平成26年法律第76号）に基づく新教育長に小柳光春氏が任命され、平成27年4月1日より新教育委員会制度へ移行しました。



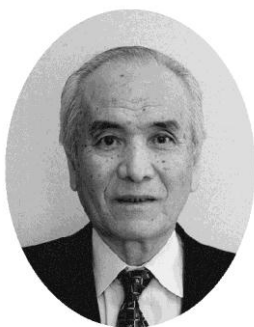
教 育 長 小 柳 光 春



教 育 長
職務代理者 柿 沼 敬 一



委 員 井 上 美 佐 子



委 員 清 水 巖



委 員 橋 本 幾 子

平成27年4月1日現在

職 名	氏 名	任 期
教 育 長	こ やなぎ みつ はる 小 柳 光 春	平成 27 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日
教 育 長 職務代理者	かき ぬま けい いち 柿 沼 敬 一	平成 24 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日
委 員	いの うえ み さ こ 井 上 美 佐 子	平成 25 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日
委 員	し みず いわお 清 水 巖	平成 26 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日
委 員	はし ちと いく こ 橋 本 幾 子	平成 27 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日

I 教育行財政

1. 深谷市が目指す教育の姿（深谷市教育振興基本計画より）

（1）基本理念

少子高齢社会の進行、高度情報化及び国際社会におけるグローバル化など私たちを取り巻く社会は激しい変化の中にあります。私たちは、人や自然、社会と関わり、つながりをもちながら生活をしており、その中で教育は、自らの生き方について考え、実践をしていく力を養うために重要な役割を果たしています。現在の変化の激しい時代の中で自立して生き抜いていくために、「確かな学力」、「豊かな心」及び「健やかな体」の知・徳・体を基盤とした「生きる力」を身に付けることは、もっとも大切なことです。

子どもたちの自立と成長を保障する「生きる力」をもった子どもたちを育て、また、市民一人一人の学びを通じた絆づくりと活力あるコミュニティを形成するため、本市は、郷土の偉人である渋沢栄一翁が生涯を通じて大切にした「立志の精神」と「忠恕のこころ」を受け継ぐ教育に取り組むことが重要であると考えます。

これらを踏まえ、平成24年3月に策定された深谷市教育振興基本計画では、本市の教育行政を進めていく上での基本的な考え方として、次の基本理念を掲げています。

「立志と忠恕の深谷教育」

こころざし

～ふるさとを愛し、夢をもち 志高く生きる～

～立志（りっし）と忠恕（ちゅうじょ）～

立志は「夢をもち志高く生きること」を、忠恕は「まごころ・おもいやり」を意味することばで、渋沢栄一翁が生涯貫いた思想であるといわれています。深谷市の偉人である渋沢栄一翁は経済人としての活動のほか、国際交流や社会福祉事業などにも生涯をかけて情熱を注ぎました。



渋沢栄一翁

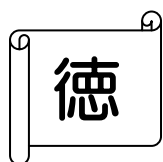
(2) 基本方針

基本理念を踏まえ「市民一人一人が生涯にわたり学んでいく」上での施策を実施していくにあたっては、学校教育及び生涯学習のそれぞれの観点から次の5つの基本方針で取り組んでいます。

ア 学校教育の観点から



確かな学力をそだてる



豊かな心をはぐくむ



健やかな体をそだてる

イ 生涯学習の観点から



夢をはぐくむ



絆をふかめる

（３）基本目標

深谷市教育振興基本計画の基本理念及び基本方針を踏まえ、教育振興基本計画の計画期間である平成２４年度～平成２９年度の６年間に取り組む教育施策の７つの基本目標を掲げ、教育行政を総合的に推進しています。

７つの基本目標

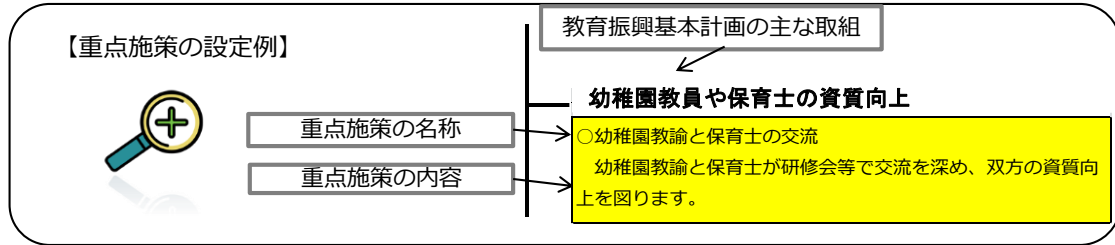
- I 社会を生き抜く力の育成
- II たくましく生きるための心と体の育成
- III 信頼される学校教育の推進
- IV 家庭・地域の教育力の向上
- V 生涯を通じた学習活動の推進
- VI 深谷らしい文化の創造
- VII 生涯を通じたスポーツ・レクリエーション活動の推進

（４）平成２７年度深谷市教育委員会重点施策

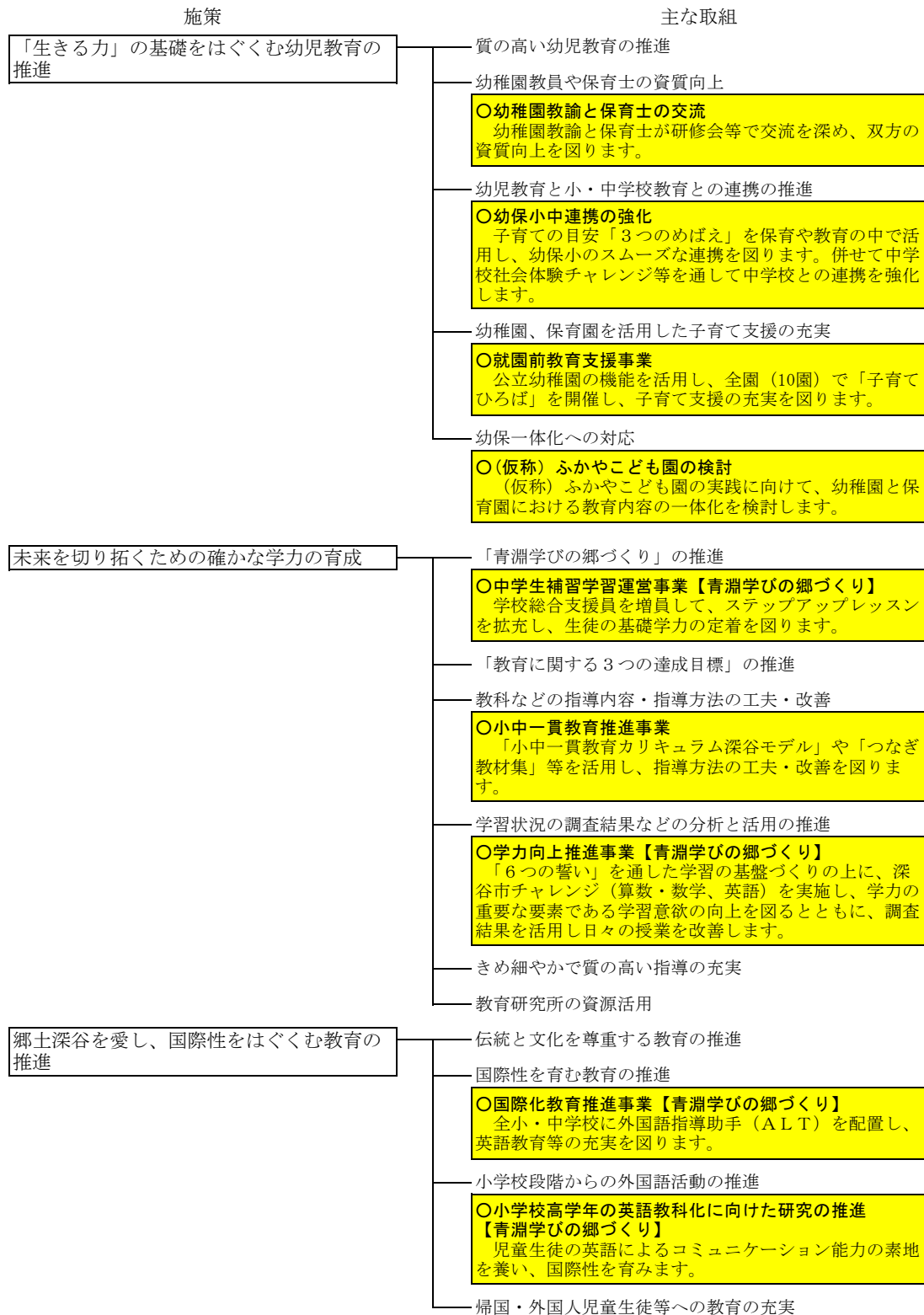
教育委員会重点施策は、深谷市教育振興基本計画の実効性をより高めるため、年度ごとの重点的な取り組みを明らかにしたもので、毎年、年度初めにその取り組み内容を公表しています。教育委員会では、関係機関、各種団体等と連携を図るとともに、広く市民の理解と協力を得ながら、積極的に取り組んでいます。

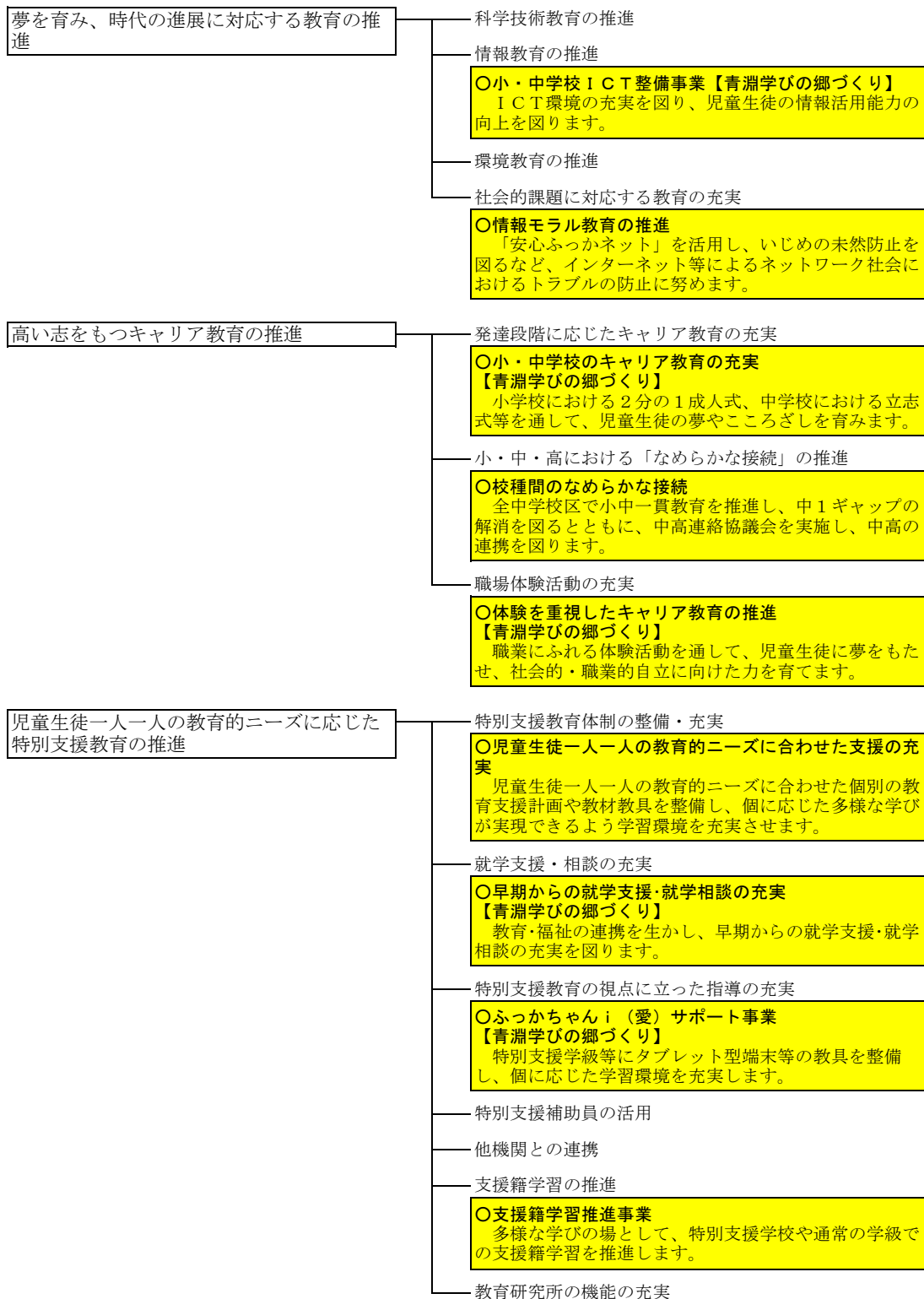
次ページ以降では、「平成２７年度深谷市教育委員会重点施策」を教育振興基本計画の施策体系とともに紹介します。

◆平成27年度 深谷市教育委員会重点施策（深谷市教育振興基本計画 施策体系）



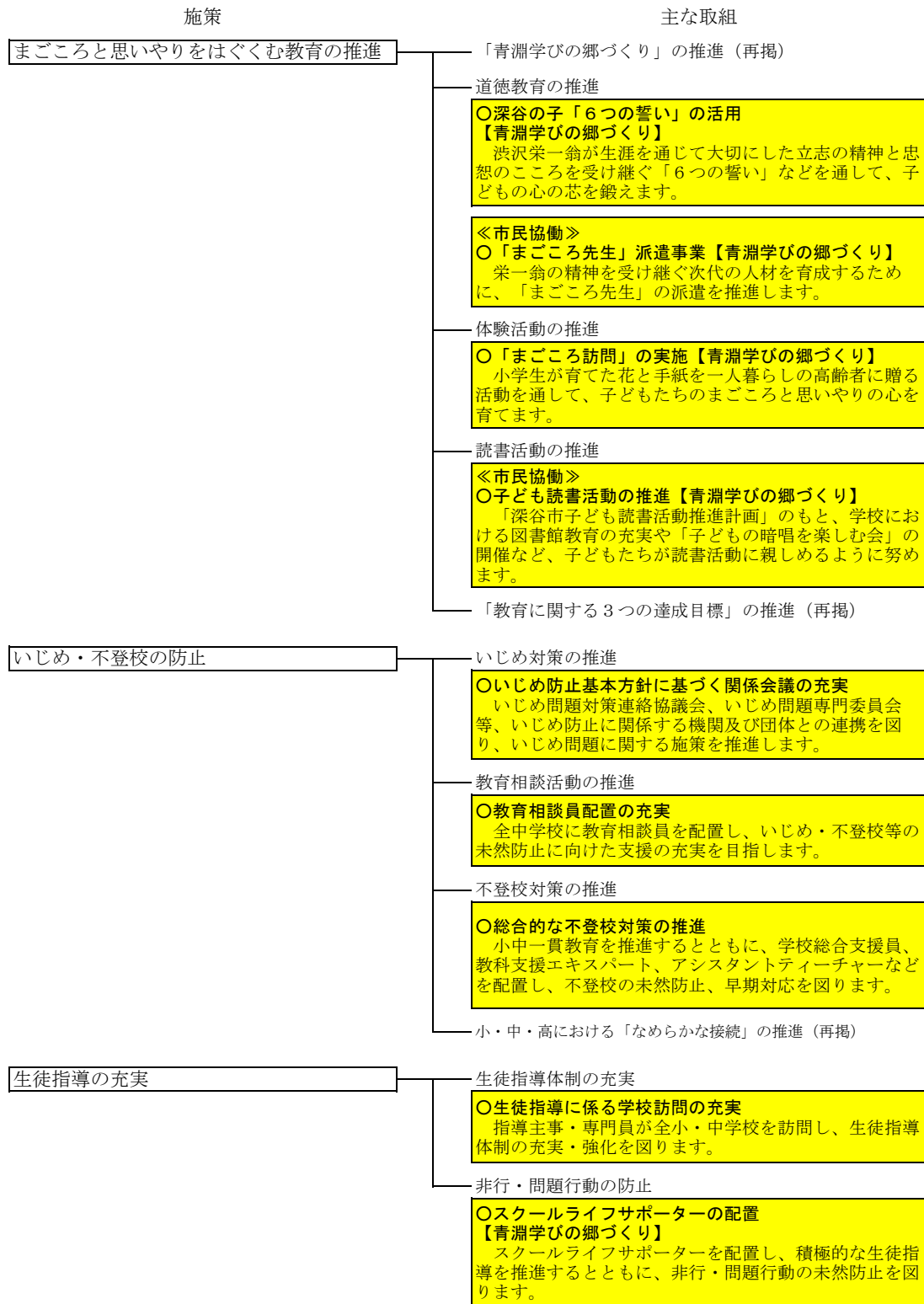
I 社会を生き抜く力の育成

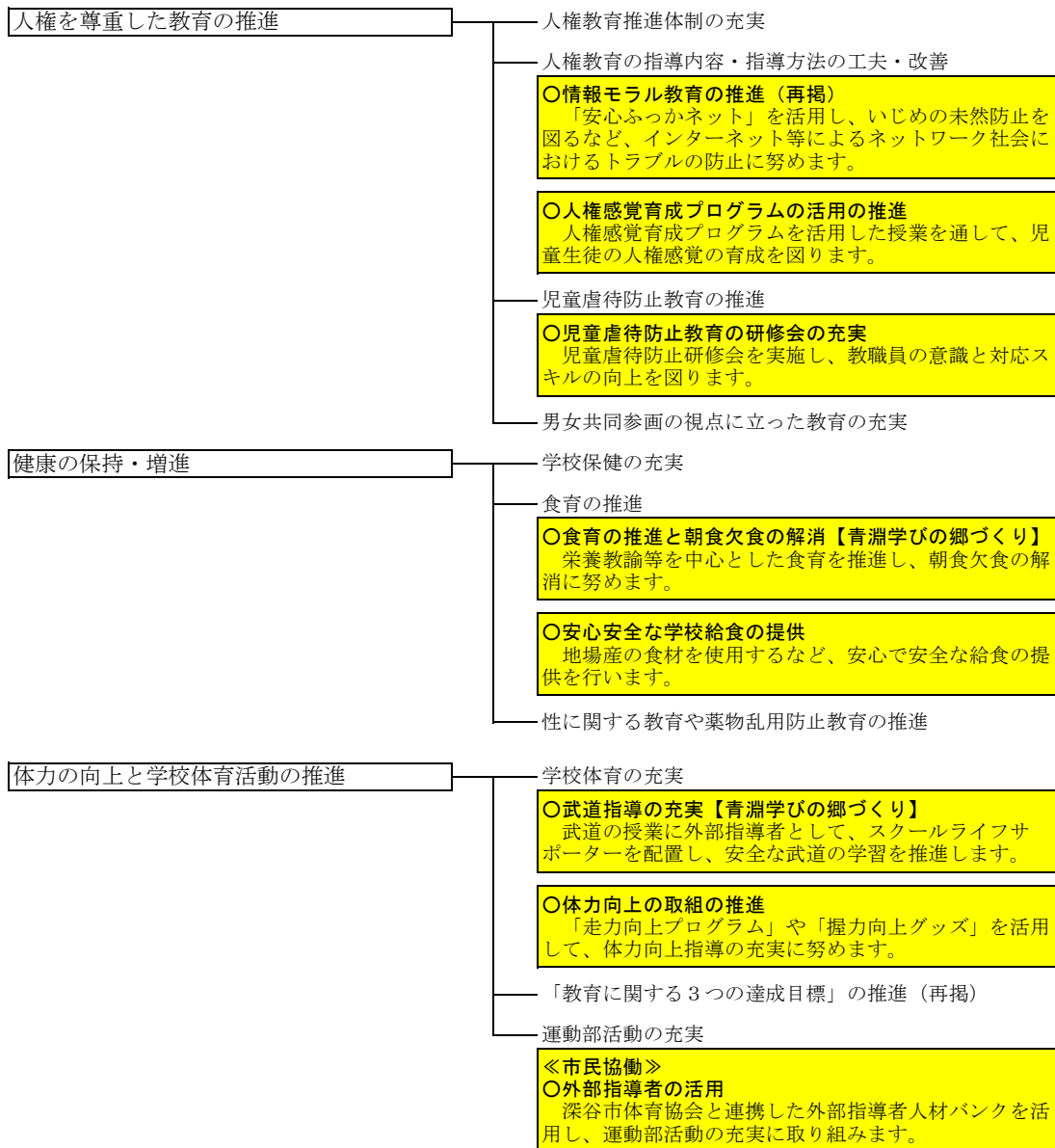




※【青淵学びの郷づくり】は、渋沢栄一翁の心を受け継ぐ事業の総称です。
 ※「6つの誓い」とは、深谷市のめざす子ども像「夢ところざしをもち、まごころと思いやりのある深谷の子」を具現化したもので、深谷の子どもたちが、今まで取り組んできたことであり、これからも取り組みつづけてほしい目標です。

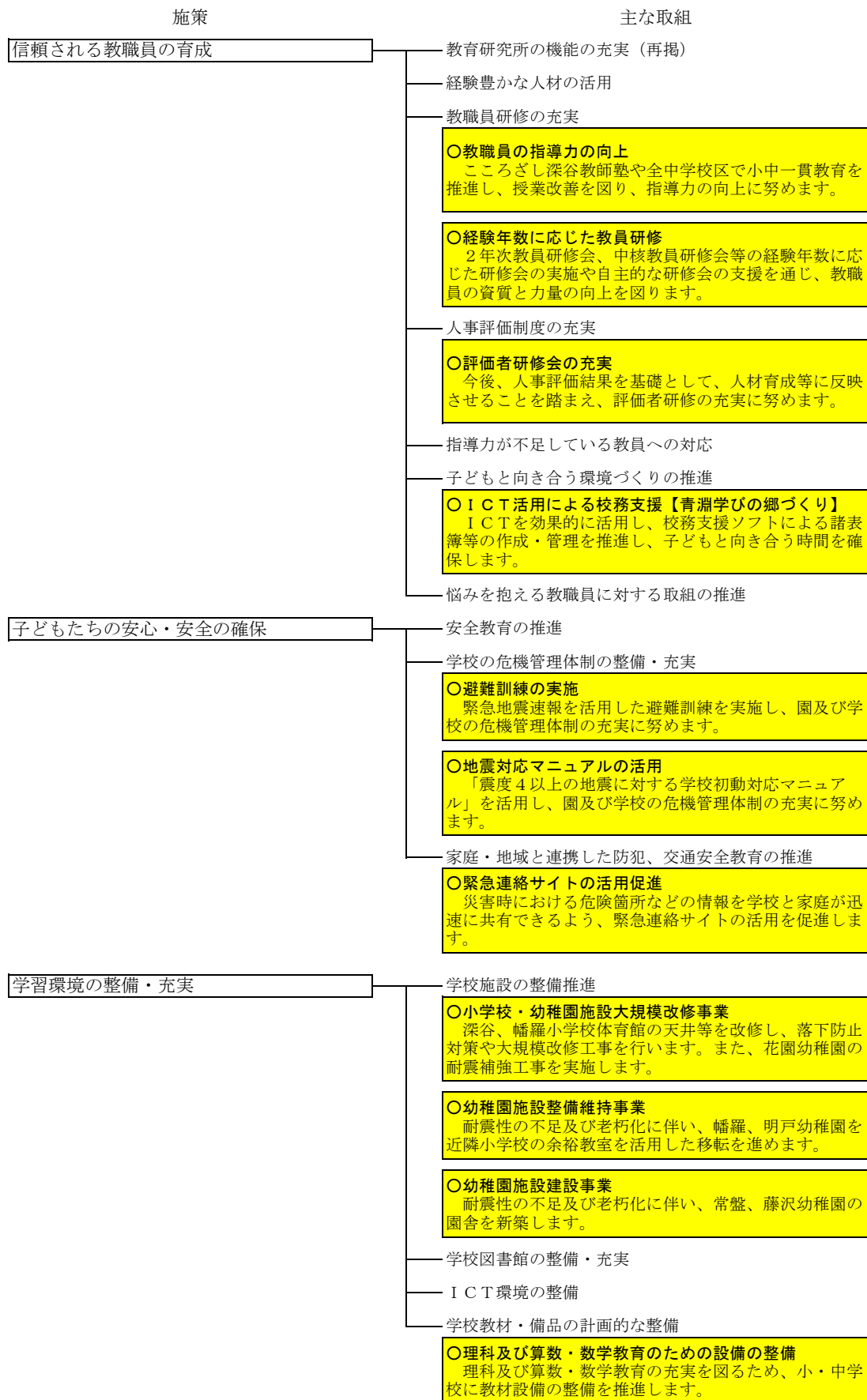
Ⅱ たくましく生きるための心と体の育成



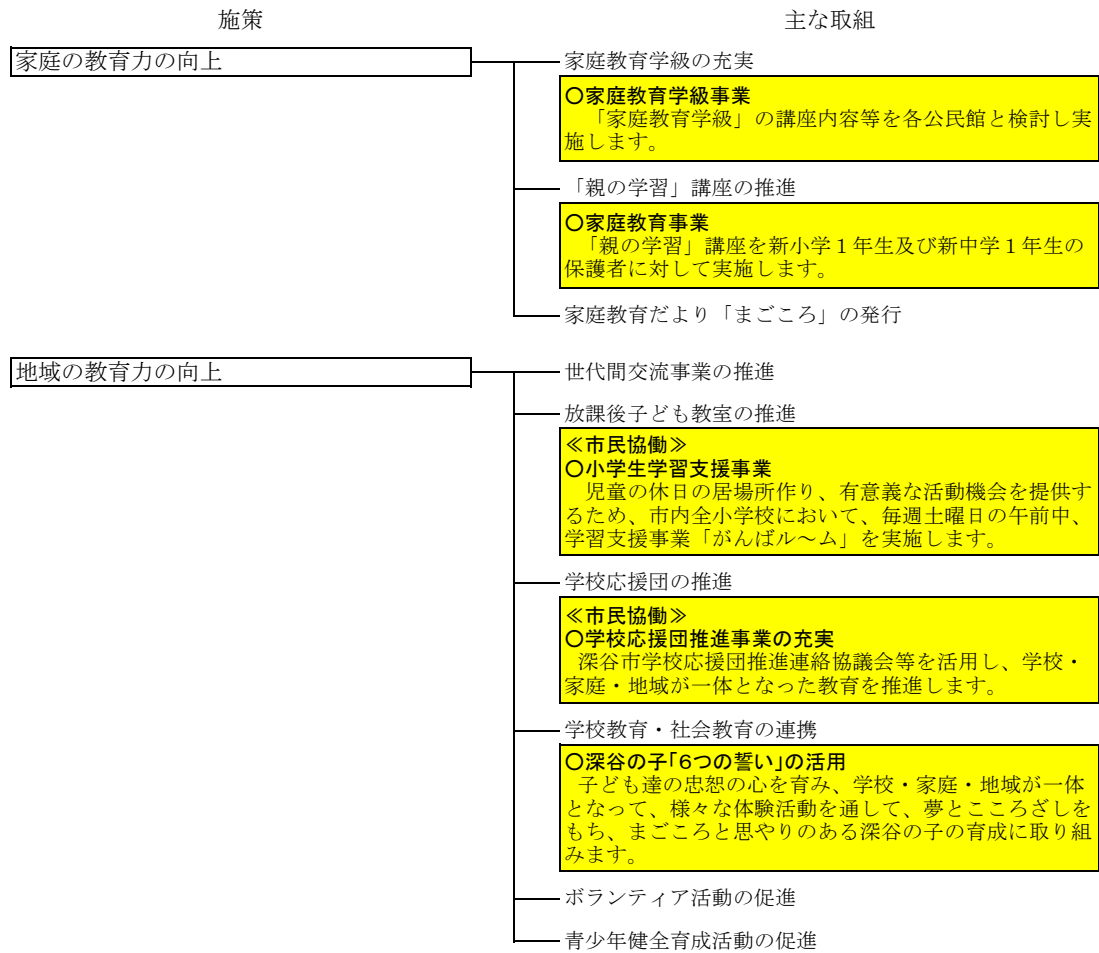


※≪市民協働≫とあるのは、市民等と行政が、相互の立場や特性を認識・尊重しながら、共通の目的を達成するために協力して活動していく施策です。

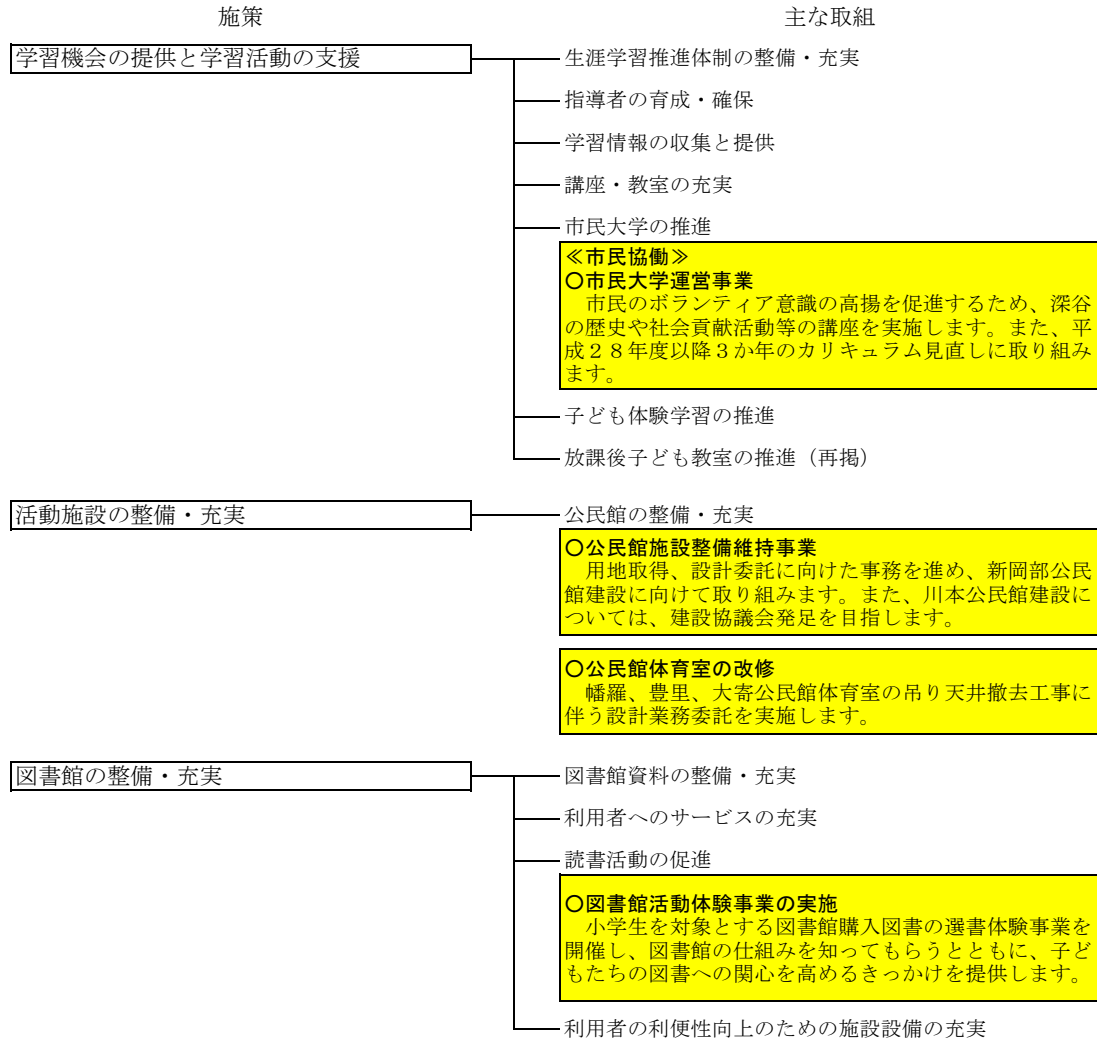
Ⅲ 信頼される学校教育の推進



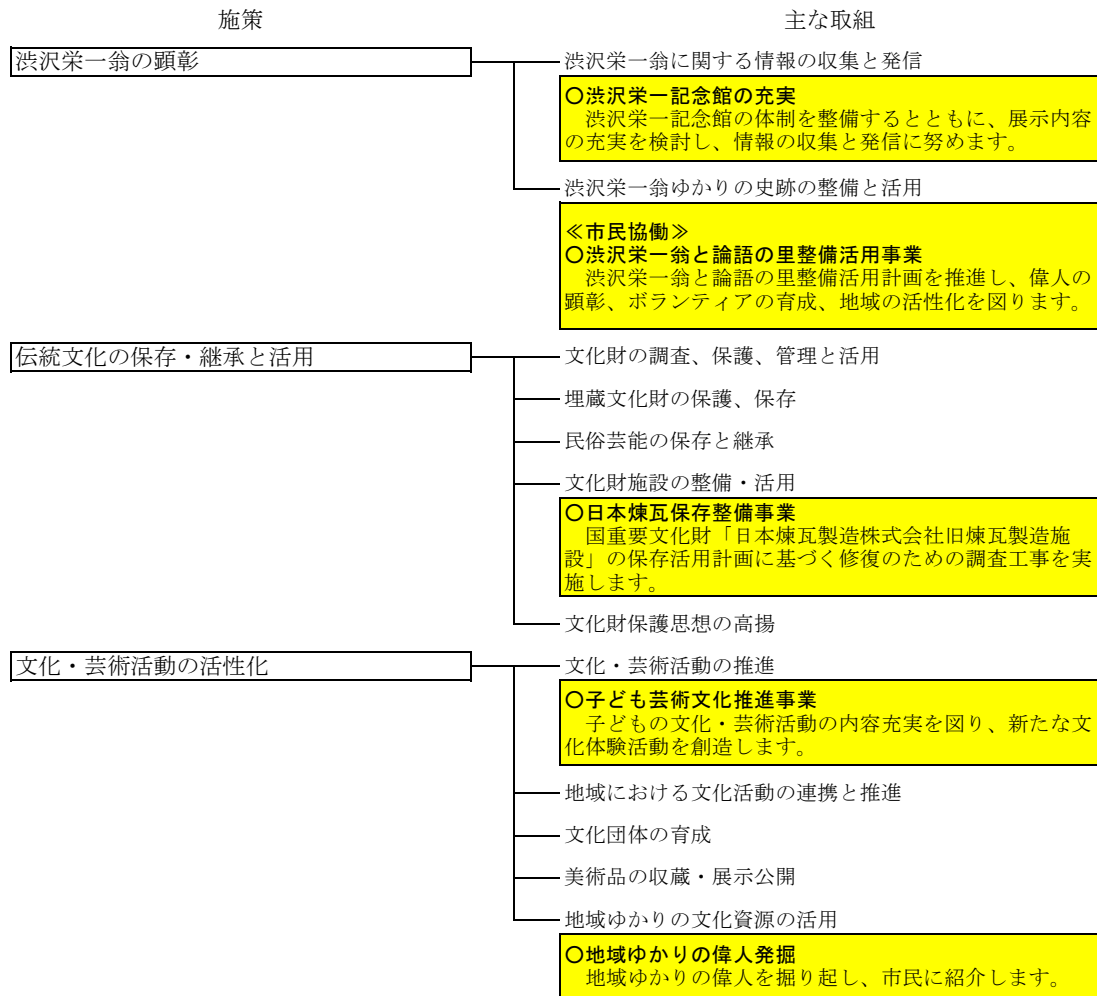
IV 家庭・地域の教育力の向上



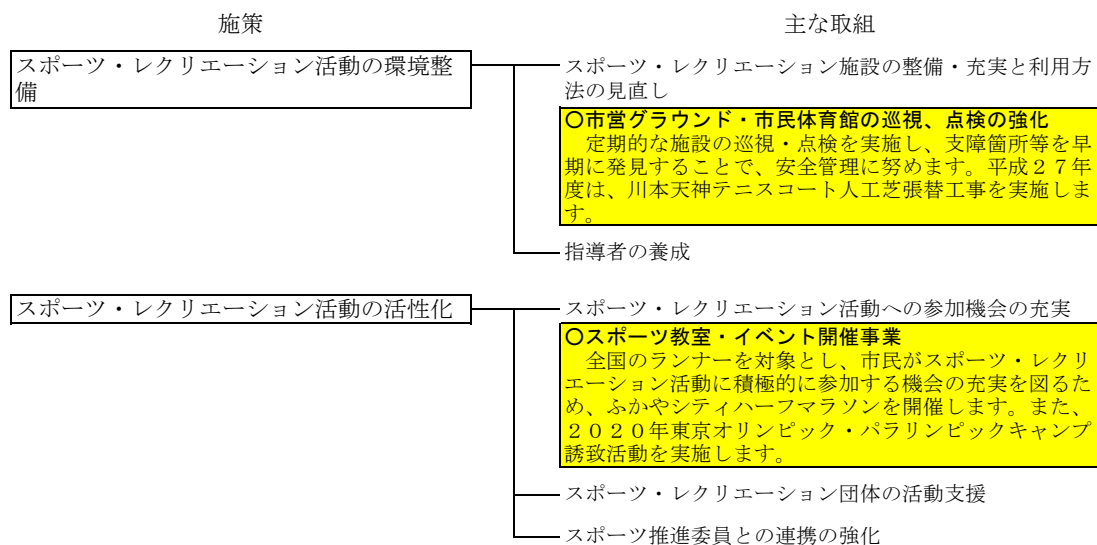
V 生涯を通じた学習活動の推進



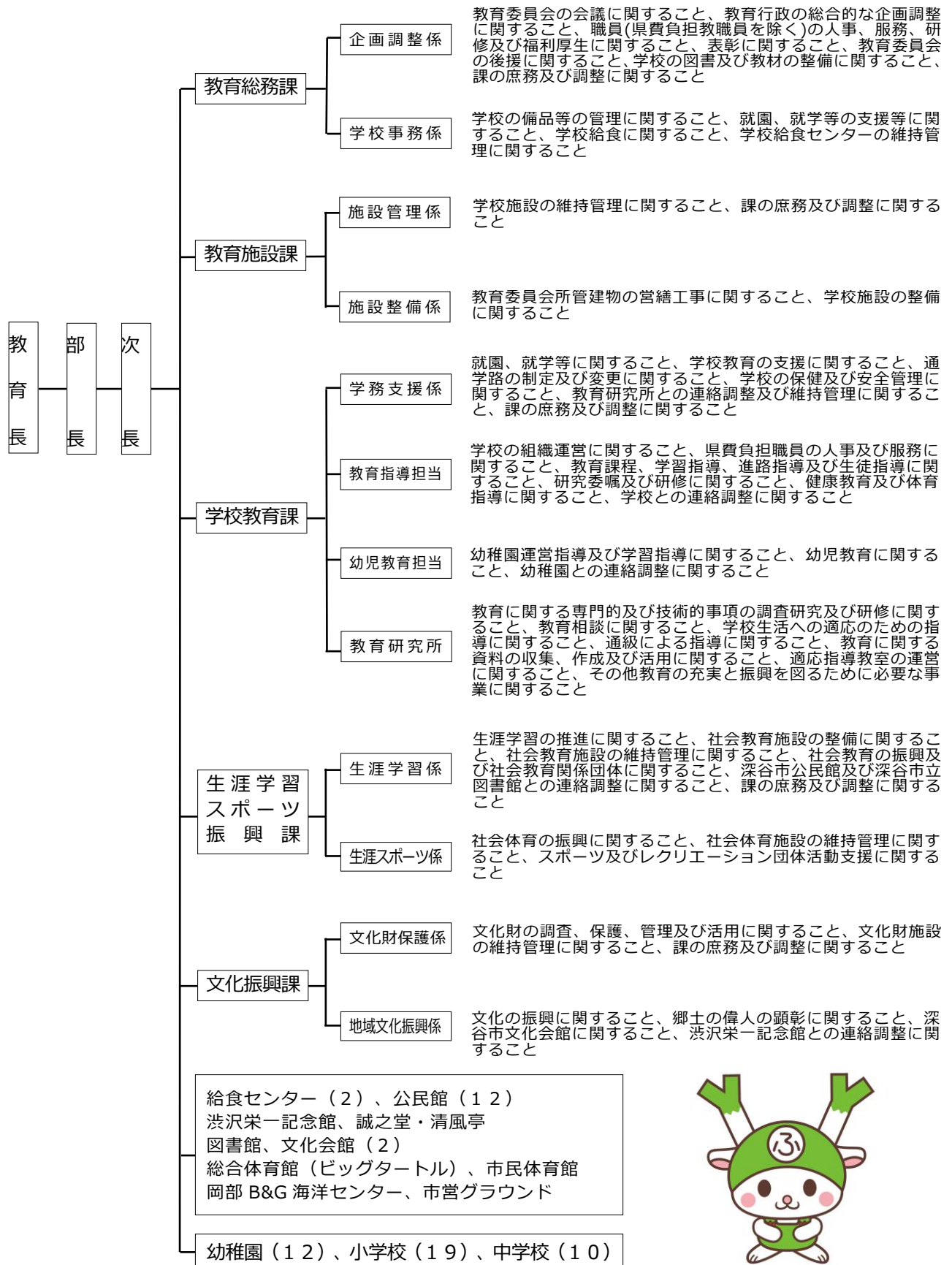
Ⅵ 深谷らしい文化の創造



Ⅶ 生涯にわたるスポーツ・レクリエーション活動の推進



2. 事務局の組織及び事務分掌



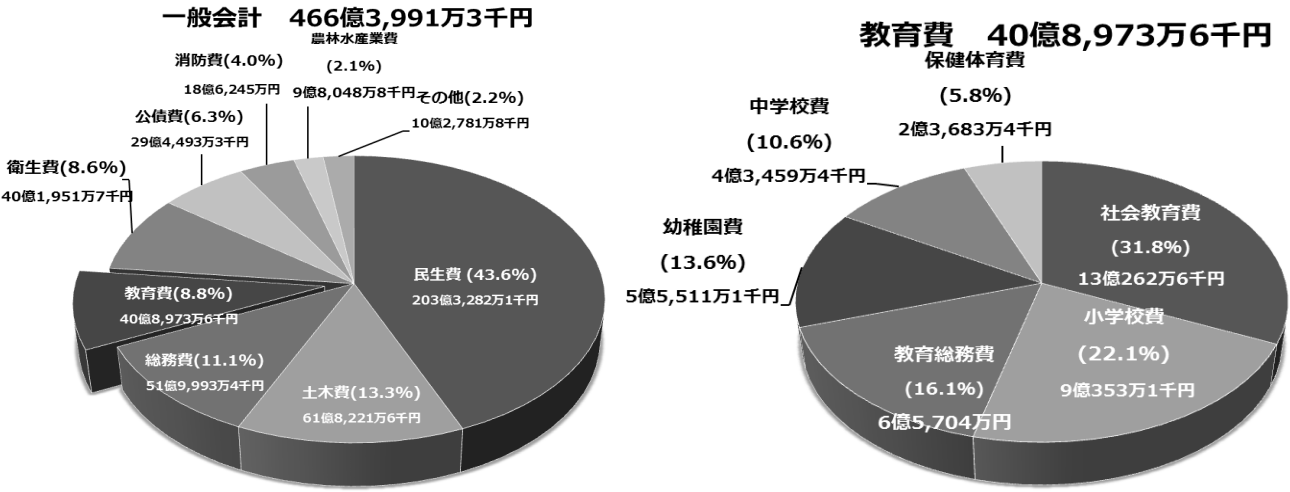
3. 事務局及び教育機関職員数（平成27年4月1日現在） （単位：人）

	教育長	事務職員	教務主任 教務・教諭	業務員	給食調理員	専門員・指導員 相談員・支援員	合計
職 員 数	1	109 (14)	22	1	5	15	153

※事務職員には、技術職員を含む。
※事務職員の（ ）内の数字は、指導主事兼務の職員数である。

4. 平成27年度一般会計予算、教育費（歳出）

平成27年度の教育予算は、一般会計の当初予算額 466億3,991万3千円のうち、40億8,973万6千円で、総予算額に占める割合は8.8%となっています。



5. 平成27年度教育費内訳、財源内訳（当初予算） （単位：千円）

項 目	予 算 額	教育費に対する 割合(%)	財 源 内 訳			
			特 定 財 源			一般財源
			国県支出金	地 方 債	そ の 他	
教育総務費	657,040	16.1	7,433	0	7,182	642,425
小学校費	903,531	22.1	2,987	0	3,484	897,060
中学校費	434,594	10.6	1,674	0	1,792	431,128
幼稚園費	555,111	13.6	15,960	0	50,301	488,850
社会教育費	1,302,626	31.8	31,121	0	37,026	1,234,479
保健体育費	236,834	5.8	480	0	4,093	232,261
合 計	4,089,736	100.0	59,655	0	103,878	3,926,203

6. 教育費（当初予算）

（単位：千円）

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
一般会計（A）	49,593,300	45,467,156	48,222,469	49,089,252	46,639,913
教育費（B）	3,921,885	4,282,120	4,638,259	4,502,670	4,089,736
一般会計に対する 割合（B/A）	7.9%	9.4%	9.6%	9.2%	8.8%

7. 児童生徒 1 人当たりの教育費（当初予算）

（児童生徒数は各年度 5 月 1 日現在）

	小学校費 （千円）			中学校費 （千円）		
		児童数 （人）	児童 1 人当たり （千円）		生徒数 （人）	生徒 1 人当たり （千円）
平成 23 年度	752,476	8,296	91	665,880	4,213	158
平成 24 年度	761,032	8,190	93	529,947	4,164	127
平成 25 年度	1,060,399	8,097	131	524,282	4,100	128
平成 26 年度	1,240,112	8,006	155	576,513	4,103	141
平成 27 年度	903,531	7,898	114	434,594	4,073	107

8. 就学援助状況（平成 26 年度実績）

（単位：人、円）

分 類	小 学 校		中 学 校		合 計	
	人 数	金 額	人 数	金 額	人 数	金 額
学 用 品	739	7,689,525	459	9,542,564	1,198	17,232,089
通 学 用 品 費	649	1,311,160	321	659,660	970	1,970,820
新入学児童生徒学用品費	90	1,791,000	138	3,160,200	228	4,951,200
通 学 費	5	66,530	-	-	5	66,530
校外活動費（泊まり有）	140	480,865	275	1,555,326	415	2,036,191
校外活動費（泊まり無）	687	970,022	36	35,108	723	1,005,130
修 学 旅 行 費	144	2,626,421	157	8,586,934	301	11,213,355
ク ラ ブ 活 動 費	-	-	364	896,626	364	896,626
生 徒 会 費	-	-	459	898,749	459	898,749
P T A 会 費	574	1,768,387	419	1,603,056	993	3,371,443
体 育 実 技 用 品 費	-	-	35	161,275	35	161,275
学 校 給 食 費	741	28,846,920	459	21,311,090	1,200	50,158,010
医 療 費	6	116,140	3	30,660	9	146,800
合 計		45,666,970		48,441,248		94,108,218

9. 公立幼稚園保育料減免状況（平成 26 年度実績）

	小学校の第 1 ～ 3 学年に在学する兄 または姉がいない場合（従来条件）		小学校の第 1 ～ 3 学年に在学する兄 または姉がいる場合（新条件）	
	人 数	金 額	人 数	金 額
4 歳児	11 人	330,000 円	104 人	4,483,000 円
5 歳児	5 人	100,000 円	88 人	3,657,000 円
合 計	16 人	430,000 円	192 人	8,140,000 円

10. 私立幼稚園就園奨励費補助状況（平成 26 年度実績）

	小学校の第 1 ～ 3 学年に在学する兄 または姉がいない場合（従来条件）		小学校の第 1 ～ 3 学年に在学する兄 または姉がいる場合（新条件）	
	人 数	金 額	人 数	金 額
満 3 歳児	32 人	1,962,300 円	14 人	1,989,800 円
3 歳児	128 人	13,064,200 円	52 人	9,951,100 円
4 歳児	125 人	10,117,400 円	83 人	15,488,600 円
5 歳児	128 人	10,398,400 円	68 人	12,314,700 円
合 計	413 人	35,542,300 円	217 人	39,744,200 円

11. 学校給食の状況

（1）学校給食実施校（平成 27 年 5 月 1 日現在）

	学 校 数	児 童 ・ 生 徒 数
小 学 校	19 校	7,898 人
中 学 校	10 校	4,073 人
合 計	29 校	11,971 人

（2）調理場方式（平成 27 年 5 月 1 日現在）

単独調理場	小 学 校	18 カ所
	中 学 校	8 カ所
学 校 給 食 セ ン タ ー		2 カ所
合 計		28 カ所

（3）給食関係職員配置状況・給食実施稼動状況（平成 27 年 5 月 1 日現在）

	栄養士数（人）	調理員数（人）	給食対象者数（人）	調理員一人当たりの 調理食数（食）
小 学 校	18（9）〈5〉	101[101]	7,177	71.0
中 学 校	8（5）〈3〉	47[47]	3,192	67.9
学校給食センター	2（0）〈2〉	21[11]	1,602	76.2
合 計	28（14）〈10〉	169[159]	11,971	70.8

※（ ）は市費臨時学校栄養士の内数、〈 〉は栄養教諭の内数、[]は委託職員で内数。

(4) 給食費（平成 27 年度実績）

	月額	1 食単価	実施回数
小 学 校	4,100 円	240 円	187 回
中 学 校	4,900 円	300 円	182 回

※年間 11 ヶ月徴収

(5) 深谷市の学校給食における取組

① 給食活動について

ランチルーム給食、交流給食（同一学年内、異学年、全校合同）、バイキング給食、親子試食会、招待給食（地域住民など）、とうもろこし・たけのこの皮むき体験、農業体験などをおし、望ましい食習慣の形成を図っています。

② 郷土料理について

郷土の偉人である渋沢栄一翁にちなんだ「煮ぼうとう」、鎌倉時代の武将、畠山重忠にちなんだ「重忠汁」、特産のねぎを使用した「ねぎぬた」などを実施しています。

③ 栄養士について

栄養教諭・県費学校栄養職員未配置調理場に市費臨時学校栄養士を配置することで、すべての調理場に栄養士を配置しています。



Ⅱ 学 校 教 育



1. 重点施策

明日の人材を生む学校教育の推進

～「夢とこころざしをもち、まごころと思いやりのある深谷の子」の育成を目指して～

(1) 幼児教育の充実

① 保・幼・小・中の連携

- ・0歳から15歳までの子どもを一貫して育てるため、保育園・幼稚園・小学校・中学校間の相互の情報交換を行い、園及び学校間のなめらかな接続を図る。

② 幼児教育振興のための環境整備

- ・「就園前教育支援事業」や「（仮称）ふかやこども園の検討」を通じ、子育て支援の充実を図る。

(2) 小・中学校教育の充実

① 学校管理・運営の充実

◆「青淵学びの郷づくり」の推進

- ・深谷市のめざす子ども像「夢とこころざしをもち、まごころと思いやりのある深谷の子」の育成につながる行動目標として「深谷の子『6つの誓い』」を、子どもを取り巻くオール深谷で推進する。
- ・中学校に学校総合支援員を配置し、学校運営や安全、学習など学校を総合的に支援する。
- ・中学1年生から中学3年生を対象に補習学習を実施し、学習に不安を感じている生徒の学力の向上に努める。
- ・深谷市学校問題サポートチームを設置し、対応に苦慮する学校への支援に努める。
- ・アシスタントティーチャーやALTを配置し、児童生徒の学力の向上に努める。
- ・園及び学校間のなめらかな接続を図り、小中一貫教育推進事業の充実を図る。
- ・「まごころ先生」の小中学校への派遣や深谷市独自の道徳副読本「渋沢栄一こころざし読本」の活用、こころざし深谷国際塾・科学塾の実施により、道徳教育・生き方教育の充実とともに、こころざしを立てさせ、夢を育む。
- ・スクールライフサポーターなどの配置により、積極的な生徒指導を推進し、非行・問題行動の未然防止を図る。
- ・「ふっかちゃん子ども福祉基金」を活用し、ふっかちゃんi（愛）サポート事業として小・中学校の特別支援学級にiPadを整備して学習支援を推進する。

◆なめらかな接続

- ・保・幼・小・中の担当者間で授業参観や情報交換を行うとともに児童生徒の交流を実施して、園及び学校間のなめらかな接続を図る。
- ・中学校と高等学校の連絡協議会や出前授業を開催し、進路指導の充実を図る。
- ・市内にある高等学校・大学などの高等教育機関との積極的な連携を図り、学校教育の充実に努める。
- ・教科支援エキスパートを全小学校に配置し、小学校の授業を充実させることで中１への滑らかな接続を目指す。

◆教育と福祉との連携

- ・教育委員会とこども未来部、福祉健康部等との連携を図り、子どもの継続的・組織的な支援体制づくりに努める。

◆学校応援団の充実

- ・学校と学校応援団との連携を強化し、学校への「学習・安全・環境」支援の充実を図る。
- ・市民協働の観点から、学校運営協議会（深谷モデル）の構築を推進する。

◆教育研究所の資源活用

- ・教育研究所学校福祉相談員等による教育相談や巡回相談など、児童生徒や保護者、学校への適切な支援に努める。
- ・学校と教育研究所との連絡・相談体制を整備・充実し、不登校の解消に努める。

② 教育内容の充実

◆「知恵」「心」「体」のバランスのとれた教育の推進

- ・「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」の３つの分野において、基礎的、基本的な内容の確実な定着を図る。

◆基礎・基本の定着と活用力の向上

- ・少人数指導によるきめ細やかな指導を取り入れた学習活動の推進に努める。
- ・学校総合支援員がコーディネートし、学生ボランティアの協力のもと、中学生補習学習を推進する。
- ・児童生徒の発達の段階を踏まえ、各教科の基礎・基本を明確にした指導目標を設定し、指導内容の精選・重点化を図った教育課程の編成に努める。
- ・学校訪問の充実を図り、「深谷市授業スタンダード」をもとに各教科等における厳選された指導内容、個を生かす指導方法の工夫、各教科等の特性に応じた学習評価をもとに、児童生徒一人一人が意欲的に学習に取り組む授業の創造に努める。

◆生徒指導体制の充実

- ・スクールライフサポーターや学校相談員、学校総合支援員配置事業を通じ総合的な不登校対策を推進するとともに、学校が抱える問題の解決に向けた支援と安全指導の充実に努める。
- ・全教職員が児童生徒理解に基づく指導・援助に努め、いじめや不登校、非行・問題行動等の未然防止、早期発見・早期対応ができるよう、いじめ問題対策連絡協議会等を機能させ、「安心ふっかネット」を活用する等、組織的な生徒指導体制を確立するとともに、家庭・地域等との連携を密にし、地域ぐるみの健全育成活動を推進する。

◆道徳教育の推進

- ・「渋沢栄一こころざし読本」・「青淵・こころざし歳時記」等の活用や「まごころ先生」の派遣により、道徳の時間の充実・改善を図り、立志の精神や忠恕の心、命を大切にする心等を育む。
- ・教育活動全体を通じて行う道徳教育の推進により、児童生徒が生きがいのある学校生活が送れ自主性や自発性を大切にし、成就感・存在感が得られるような教育活動を進め、共感的な人間関係の醸成に努める。
- ・「まごころ先生」の活用や道徳教育の充実を通じ、立志の精神や忠恕の心、命を大切にする心等を育む。

◆体力向上及び健康・安全教育の推進

- ・体育授業等の充実を通じ、児童生徒が自ら運動する意欲を培い、体力向上に取り組むとともに、生涯にわたって積極的に運動に親しむ資質や能力を身に付けさせるために、発達の段階に応じた指導の充実に努める。
- ・生涯にわたって健康で充実した生活を送るための基礎を培うよう、学校の教育活動全体を通じた健康教育の推進に努める。
- ・緊急連絡サイトの活用を通じ、児童生徒の安心安全の確保に努めるとともに、児童生徒が自ら日常生活に潜む様々な危険に気付き、的確な判断の下に安全に行動し、他者の安全にも配慮することができる資質や能力の育成に努める。
- ・生涯にわたって健康で豊かな生活を送るための望ましい食生活や好ましい人間関係を育成するために食育の推進と朝食欠食の解消に努める。

◆人権教育の推進

- ・人権教育総合推進地域事業を通じ、様々な人権課題を解決しようとする児童生徒を育成するため、自校の人権教育推進上の課題を明確にし、人権問題に対する正しい知識と理解の定着を図るとともに、人権感覚の育成に努め、全教職員の共通理解の下、児童虐待防止教育や情報モラル教育等の研修会を充実させ、教育活動全体を通じて計画的・組織的に人権教育の推進に努める。

◆国際性をはぐくむ教育の推進

- ・ A L T の活用を図り、小学校における外国語活動、中学校における英語教育の充実に努める。
- ・ 外国人児童生徒や帰国児童生徒への日本語指導の充実に努めるとともに、国際理解教育の推進に努める。

◆進路指導・キャリア教育の充実

- ・ 児童生徒一人一人が自己の進路に対する目的意識を高めるとともに望ましい勤労観や職業観を身に付け、希望と自信をもって積極的、意欲的に学校生活に取り組めるよう、家庭や地域との連携を図り、児童生徒理解を基盤にした生き方指導、支援体制づくりに努める。

◆情報教育の推進

- ・ 全校に整備された I C T 機器を活用し、教師による教材提示や児童生徒の発表等、より分かりやすい授業を行うことで、確かな学力の定着に努める。
- ・ I C T 機器を活用する学習活動を積極的に取り入れ、情報の収集や選択、創造、発信などの情報活用能力の育成に努める

◆環境教育の推進

- ・ 環境への理解を深め、環境を大切にする心を育成するとともに、緑豊かな学校づくりに努める。

◆教職員の指導力向上

- ・ 教育研究所専門員や学校福祉相談員などの活用を図り、教育と福祉の連携や特別支援教育の推進に努める。
- ・ 教育研究所協力員を中心に、経験に応じた研修や指導力向上の為の研修の充実に努めるなど、教職員研修の拠点とする。

(3) 特別支援教育の推進

① 特別支援教育体制の充実（多様な学びの場の充実）

② 就学支援・相談の充実

- ・ 早期からの教育相談、支援体制の構築（教育・福祉の連携の活用）
- ・ 継続した支援体制の充実（小中連携巡回相談等の活用）

③ 特別支援教育の視点に立った指導の充実と特別支援補助員の活用

- ・ 児童生徒一人一人の教育的ニーズを把握し、適正な就学支援及び個に応じた特別な教育課程を編成する。
- ・ 通常の学級に在籍する比較的軽度の障害のある児童生徒に対し、通級による指導を行う。
- ・ 通常の学級に在籍している発達障害のある児童生徒について、教育支援プランを作成し、一人

一人の教育的ニーズに応じた指導の充実に努める。

④ 特別支援学校や他機関との連携

⑤ 支援籍学習の推進

(4) 学校施設・設備等の整備

① 学校施設設備の整備・充実

・児童生徒の活動を確保するための施設・設備の整備・充実に努める。

② I C T機器等の整備・充実

・コンピューター室にハイブリッド型パソコン（ノートパソコンとしてもタブレット端末としても利用できるパソコン）を導入するとともに、ネットワーク環境の強化を図り、教室で最新のI C T機器を活用した授業が展開できるよう努める。

③ 学校図書館の充実と子ども読書活動の推進

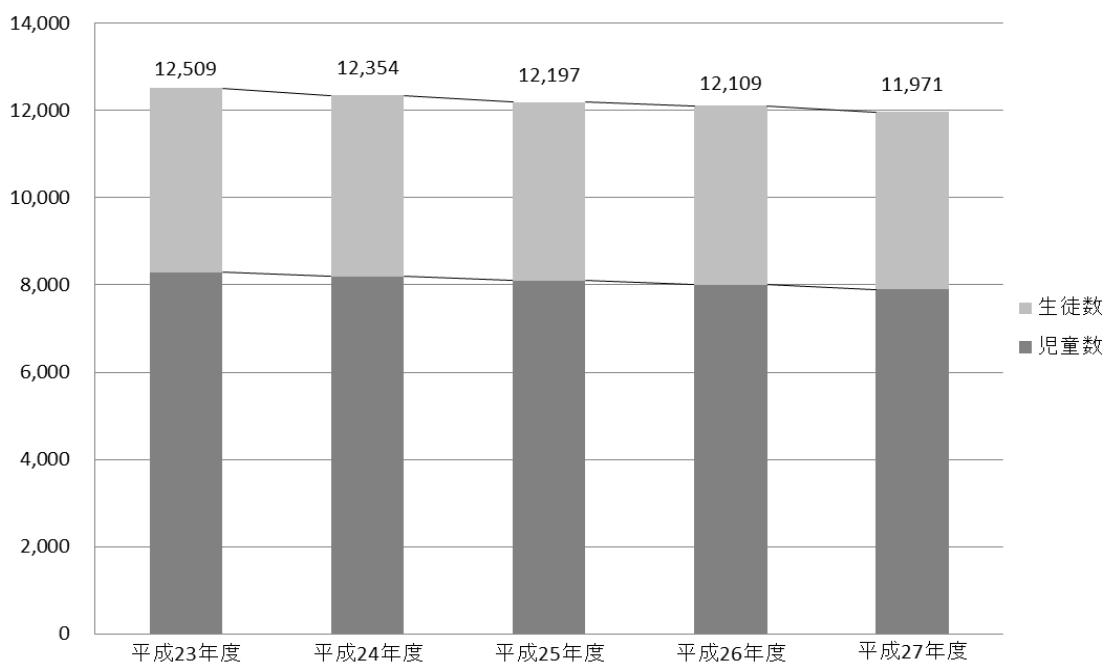
④ 学校備品の計画的な整備



2. 児童・生徒・教職員数の推移（各年度5月1日現在）

（1）5年間の児童・生徒数の推移

（単位：人）



児童数	8,296	8,190	8,097	8,006	7,898
生徒数	4,213	4,164	4,100	4,103	4,073
合 計	12,509	12,354	12,197	12,109	11,971

（2）5年間の小・中学校教職員数の推移

（単位：人）

年 度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
小学校教職員数	448	457	494	490	488
中学校教職員数	274	274	296	298	289
合 計	722	731	790	788	777



～深谷市は渋沢栄一翁の心を受け継ぐ教育に取り組めます～



深谷市のめざす子ども像
像に向かって「生きる力
(知恵・体・心)」をは
ぐくむんだね。

渋沢栄一翁は、近代日本経済の礎を築いた郷土の偉人であり、教育や福祉、さらには、国際親善などでもたくさんの業績を残しました。これらの業績を成し得たのは、栄一翁が生涯を通じて、「立志の精神」と「忠恕の心」を大切にしていたからです。

昨年、世界文化遺産に登録された富岡製糸場は、日本の近代化の足がかりとなり、その後の日本の発展に大きな影響を及ぼしましたが、この製糸場設立には、栄一翁をはじめ、深谷出身の尾高惇忠翁、荏塚直次郎氏が大いに貢献しました。

この深谷出身の3偉人の生き方から見てくるものは、明治のはじめ、何とか国を発展させ、人々の暮らしを豊かにしようとするところから精神、そして、人と人とのつながりを大切にする思いやりの心ではないでしょうか。

深谷市教育委員会では、栄一翁の精神を根拠にすえ、「深谷市教育振興基本計画～立志と忠恕の深谷教育プラン」(平成24年度～29年度)に基づき、幼・保・小・中・高へと続く「タテの連携」、家庭・地域とのつながりを深める「ヨコの連携」を一層強め、「夢とところざしをもち、まごころと思いやり」のある深谷の子を育てます。

深谷市のめざす子ども像

夢とところざしをもち、まごころと思いやりのある深谷の子

深谷の子
ちか
「6つの誓い」

【立志の精神】 私は、夢に向かって努力します。

私は、毎日勉強します。

私は、たくさん挑戦し、体験します。

【忠恕の心】 私は、すすんであいさつをします。私は、脱いだくつをそろえます。私は、心のこもったことばをつかいます。



知恵・体・心の
3つの鍵で「夢」の扉
を開けるんだね。

教育内容 (重点) 夢をはぐくむ

- 基礎・基本の定着、活用する力を身につけます
- 豊かな人間性を身につけます
- 心身の健康を保持し、体力を身につけます
- 個の違いを大切に、共に生きる姿勢を身につけます
- 情報活用能力・コミュニケーション能力・国際感覚を身につけます
- 社会的・職業的自立に向けて必要な意欲・態度や能力を身につけます

◇青淵・学びの郷づくり

- ・小中一貫教育の推進
- ・ALT活用の早期英語教育
- ・深谷市チャレンジ
- ・中学生補習学習
- ・ところざし深谷(国際・科学)塾
- ・キャリア教育の充実
- ・総合的な心め、不登校対策
- ・ところざし読本・歳時記
- ・まごころ先生派遣
- ・まごころ訪問
- ・暗唱を楽しむ会
- ・食育推進と朝食欠食解消
- ・武道(柔道)指導の充実
- ・体力向上の取組の推進

子どもたちの夢を支え 子どもたちの夢をはぐくむ 国・学校・地域連携



教師の力量向上「熱い思い、指導力、人間力」

条件整備 (重点) 夢を支える

- 0歳から15歳までの子どもを一貫して育てます
- ☆タテの連携
 - ・幼・保・小・中・高のなめらかな接続
 - ・全中学校区で小中一貫教育の推進
- ☆ヨコの連携
 - ・市民協働(学校応援団・学校運営協議会)
 - ・教育・福祉連携推進会議等の充実
- いじめ防止関連条例のもと、子どもの安心・安全を図ります
- 特別支援教育体制の整備・充実を図ります

◇青淵・学びの郷づくり

- ・学校総合支援員の配置
- ・アシスタントティーチャーの配置
- ・スクールライフサポーターの配置
- ・図書館補助員の配置
- ・教科支援エキスパートの配置
- ・特別支援補助員の配置
- ・教育相談員の配置
- ・ICTの整備と活用
- ・給食場建設(自校給食)
- ・全教室・特別室エアコン稼働
- ・幼・保・小・中連絡協議会
- ・中・高連絡協議会
- ・学校応援団・学校運営協議会等

深谷市学校教育グランドデザイン



深谷市で学ぶ子どもたちを「教え、育てる」ために、深谷の教育をどのように進めていくか、学校教育振興懇談会やPTA代表等との協議を踏まえ、基本的な方針を示したものです。

Point1

教育の大きな役割

教育には、子どもたちに、変化の激しい社会をたくましく生き抜く力や社会を形成する主体者としての資質を育成することが求められています。将来の社会的自立に向けて、人との関わりや社会の中で、自らの夢を描き、実現できるよう、子どもたちを教え導いていきます。

Point2

深谷の教育資源に立脚して

深谷市には、渋沢栄一翁や生沢ノ女史など、多くの先人がいます。また、豊かな自然や世界をリードする産業が立地する環境にも恵まれています。義務教育段階での基礎・基本の徹底を踏まえつつ、ふるさと「深谷」のすばらしい資源を活用した教育を推進していきます。

Point3

深谷市の先人 ～ 渋沢栄一翁 ～



渋沢栄一翁の足跡から、今、求められる教育の姿にたどり着くことができます。

- I 近代日本の国づくりを推進した生涯～「**立志の精神**」
 - II 論語を精神的基盤として、実業界にたずさわった姿～「**忠恕の心**」
 - III 人々をまとめ、会社をおこし、慈善活動・国際親善に取り組む姿～「**支え合う心**」
- 「深谷市は渋沢栄一翁の心を受け継ぐ教育に取り組めます」**

Point4

深谷市の「めざす子ども像」

夢とこころざしをもち、まごころと思いやりのある深谷の子

人は、「夢」をいだき、これを「こころざし」として掲げ、自分の人生を歩んでいきます。その道のりは、決して平坦ではありませんが、自らを叱咤し、友を思いやり、社会の中で助け合いながら、「夢」の実現に一步一步近づいていくのです。深谷市は、このような子どもたちの自立と成長を手助けしていきます。

深谷の子「6つの誓い」

深谷の子「6つの誓い」を推進する取組を通して、深谷市のめざす子ども像「夢とこころざしをもち、まごころと思いやりのある深谷の子」の育成に努めます。

Point5

夢を叶える3つの鍵



こころざしを立て、自らの「夢」を実現するためには、「知恵、心、体」の3つの鍵が必要です。子どもたちが、この3つの鍵を手に入れて、生きる力を身につけ、未来を切り拓いていけるよう、学校、家庭、地域が一体となって連携し、協働することが大切です。

Point6

深谷市独自の教育資源を生かした「学び」の充実

教育内容 (重点) 夢をはぐくむ

小中一貫教育の推進

「つなぎ教材集」等を活用し、指導法の工夫・改善を図ります。



- 基礎・基本の定着、活用する力を身につけます
- 豊かな人間性を身につけます
- 心身の健康を保持し、体力を身につけます
- 個の違いを大切に、共に生きる姿勢を身につけます
- 情報活用能力・コミュニケーション能力・国際感覚を身につけます
- 社会的・職業的自立に向けて必要な意欲・態度や能力を身につけます

ALT活用の早期英語教育

児童生徒の英語によるコミュニケーション能力の素地・基礎を養い、国際性を育みます。



キャリア教育の充実

2分の1成人式や立志式等を通して、児童生徒の夢やこころざしを育みます。



◇青淵・学びの郷づくり

- ・小中一貫教育の推進
- ・ALT活用の早期英語教育
- ・深谷市チャレンジ
- ・中学生補習学習
- ・こころざし深谷(国際・科学)塾

知恵

- ・キャリア教育の充実
- ・総合的な学習・不登校対策
- ・こころざし読本・歳時記
- ・まごころ先生派遣
- ・まごころ訪問
- ・子どもの暗唱を楽しむ会

心

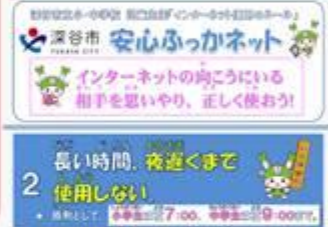
- ・食育推進と朝食欠食解消
- ・体力向上の取組の推進
- ・武道(柔道)指導の充実

体



総合的な学習・不登校対策

「安心ふっかネット」を活用し、ネット等によるいじめの未然防止に努めます。



Point7

新しい教育課程に対応した「教育環境」の充実

条件整備 (重点) 夢を支える

幼・保・小・中連絡協議会

幼稚園・保育園・小学校・中学校のなめらかな接続を図ります。



- 0歳から15歳までの子どもを一貫して育てます
- ☆タテの連携 ・幼・保・小・中・高のなめらかな接続
- ・全中学校区で小中一貫教育の推進

- ☆ヨコの連携 ・市民協働(学校応援団・学校運営協議会等)
- ・教育・福祉連携推進会議の充実

- いじめ防止関連条例のもと、子どもの安心・安全を図ります。
- 特別支援教育体制の整備・充実を図ります

学校総合支援員配置

学校総合支援員を増員して、ステップアップレッスンを拡充し、生徒の基礎学力の定着を図ります。



学校応援団・学校運営協議会等

学校、家庭、地域が一体となった教育(市民と協働)を推進します。



◇青淵・学びの郷づくり

- ・学校総合支援員の配置
- ・教科支援エキスパートの配置
- ・アシスタントティーチャーズの配置
- ・特別支援補助員の配置
- ・スクールライフサポーターの配置
- ・教育相談員の配置
- ・図書館補助員の配置

人

- ・ICTの整備と活用
- ・給食場建設(自校給食)
- ・全教室・特別室エアコン稼働

環境

- ・幼・保・小・中連絡協議会
- ・中・高連絡協議会
- ・学校応援団・学校運営協議会等
- ・こころざし深谷教師塾
- ・学校問題サポーターチーム

連携



給食場建設(自校給食)

地場産の食材をできるだけ使用し、安心して安全な給食の提供を行います。



3. 学校保健

(1) 児童・生徒の体位の平均値一覧（平成26年度）

		小 学 校											
		1 学年		2 学年		3 学年		4 学年		5 学年		6 学年	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
身長(cm)	深谷市	116.2	115.4	122.8	121.7	127.8	127.0	133.3	134.0	138.6	139.5	145.1	146.6
	埼玉県	116.6	115.9	122.5	121.5	128.2	127.4	133.8	133.8	138.8	140.2	145.2	146.8
	全国	116.5	115.5	122.4	121.5	128.0	127.4	133.6	133.4	138.9	140.1	145.1	146.8
体重(kg)	深谷市	21.3	21.0	24.4	23.8	27.5	26.6	30.5	30.2	34.4	33.6	37.8	39.4
	埼玉県	21.3	21.0	24.0	23.5	27.0	26.4	30.6	30.0	33.7	34.4	38.1	38.8
	全国	21.3	20.8	24.0	23.4	27.0	26.4	30.4	29.8	34.0	34.0	38.4	39.0
座高(cm)	深谷市	64.8	64.3	67.8	67.4	70.3	70.1	72.6	72.8	74.9	75.6	77.7	79.1
	埼玉県	64.8	64.4	67.5	67.0	70.2	69.8	72.6	72.6	74.8	75.7	77.5	79.2
	全国	64.8	64.4	67.6	67.2	70.2	69.9	72.6	72.6	74.9	75.8	77.6	79.3

		中 学 校					
		1 学年		2 学年		3 学年	
		男	女	男	女	男	女
身長(cm)	深谷市	151.7	151.6	158.4	154.9	165.0	156.5
	埼玉県	152.4	151.5	159.5	155.2	165.2	156.5
	全 国	152.5	151.8	159.7	154.8	165.1	156.4
体重(kg)	深谷市	43.4	43.8	48.0	47.4	54.8	50.9
	埼玉県	43.7	43.2	48.4	47.0	53.7	50.1
	全 国	44.0	43.6	48.8	47.2	53.9	50.0
座高(cm)	深谷市	81.0	82.3	84.6	84.0	88.5	85.1
	埼玉県	81.1	81.9	84.7	83.3	88.1	84.7
	全 国	81.3	82.1	84.9	83.8	88.1	84.9



(2) 学校保健関係職員数（平成27年5月1日現在）

（単位：人）

	学 校 医	学校歯科医	学校薬剤師	養 護 教 員	保 健 主 事
幼 稚 園	36(20)	12(10)	12(9)	-	-
小・中学校	101(24)	43(7)	29(12)	30	29

※（ ）内の数字は、複数の園又は小・中学校を兼務している人数

4. 進 路

(1) 過去5年間の中学校卒業者の進路状況(平成22年度～平成26年度) (単位:人)

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
卒業生数	1,330	1,408	1,438	1,365	1,363
進学者数 (%)	1,310 (98.5%)	1,394 (99.0%)	1,422 (98.9%)	1,351 (99.0%)	1,355 (99.4%)
就職者等数(%)	20 (1.5%)	14 (1.0%)	16 (1.1%)	14 (1.0%)	8 (0.6%)

(2) 過去5年間の進学者の内訳(平成22年度～平成26年度) (単位:人)

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
全 日 制					
県内					
国公立高校 (進学率)	949 (72.4%)	1,002 (71.9%)	1,006 (70.7%)	1,040 (77.0%)	960 (70.9%)
私立高校 (進学率)	282 (21.5%)	299 (21.4%)	305 (21.5%)	242 (17.9%)	289 (21.3%)
県外					
国公立高校 (進学率)	8 (0.6%)	7 (0.5%)	4 (0.3%)	4 (0.3%)	8 (0.6%)
私立高校 (進学率)	19 (1.5%)	23 (1.7%)	34 (2.4%)	21 (1.6%)	41 (3.0%)
定時制・通信制高校 (進学率)	36 (2.8%)	44 (3.2%)	49 (3.4%)	25 (1.8%)	37 (2.7%)
高等専門学校 (進学率)	4 (0.3%)	3 (0.2%)	7 (0.5%)	3 (0.2%)	7 (0.5%)
特別支援学校 (進学率)	12 (0.9%)	16 (1.1%)	17 (1.2%)	16 (1.2%)	13 (1.0%)
合 計	1,310 (100%)	1,394 (100%)	1,422 (100%)	1,351 (100%)	1,355 (100%)



5. 深谷市立教育研究所

〒366-0823 深谷市本住町12番8号
TEL 572-9456 FAX 551-3689



〔教育研究所の目ざすもの〕

- ◆教育と福祉の創造的連携の拠点
- ◆深谷の人づくりの拠点
- ◆学校支援の拠点

1. 〔教育研究所の現況〕

構 造 鉄骨造 3階建
敷地面積 2371.66㎡
延床面積 2143.31㎡
1 階 778.72㎡
2 階 713.36㎡
3 階 651.23㎡
(平成21年12月竣工)



2. 〔教育研究所の業務概要〕

昭和55年3月、深谷市の教育の充実と振興を図るため設置され、次の業務を行っている。

- (1) 教育に関する専門的・技術的事項の調査研究及び研修に関すること
- (2) 教育相談に関すること
- (3) 学校生活への適応のための指導に関すること
- (4) 通級による指導に関すること
- (5) 教育に関する資料の収集、作成及び活用に関すること
- (6) その他、教育の充実と振興を図るために必要な事業に関すること

(1) 教育研究所の業務（特別支援教育・教育相談・生徒指導・研修等）

努 力 点	① 教育と福祉の連携を図り、特別支援教育の視点に立った支援体制の整備と充実を図る。 ② 教育相談活動の充実を図るための環境づくりを推進する。 ③ 教育研究所協力員（幼稚園3人、小・中学校67人）を委嘱し、経験に応じた研修や教科指導力向上の為の研修の充実を図る。	
訪 問 指 導	要請訪問	要請または必要に応じて、教育相談活動の支援
	生徒指導訪問	生徒指導について、市内全小中学校に訪問指導
	特別支援教育 巡回相談	特別支援教育に関わる巡回相談
教 育 相 談	来所相談	・専門員による面接相談（月～金曜日 9時00分～16時30分） ・臨床心理士による面接相談（毎月第3火曜日 15時15分～） ・保護者サポート講座（年4回）
	電話相談	・児童生徒・保護者、その他、幼児児童生徒を持つ市民の電話相談への対応 ・「深谷イーネット」を開設し、悩み相談への対応
	訪問相談	・不登校児童生徒への支援 ・特別な支援が必要な児童生徒への対応 ・就学前保護者への支援



研修等	・教育研究所協力員研修会（年3回） ・教育相談員研修会（年5回） ・生徒指導・教育相談中級研修会（年4回） ・英語教育・算数数学教育等の研修（年6回） ・特別支援教育コーディネーター研修会（年3回） ・特別支援教育担当者研修会（年4回）
-----	---

その他	関係機関との連携	・適応指導教室「いきいき教室」の事務所管と指導助言 ・生徒指導推進連絡協議会（年6回） ・就園前幼児教育支援事業（「子育てひろば」の実施） ・要保護児童対策地域協議会 ・教育・福祉連携推進会議（年5回） ・幼保小中連絡協議会（年2回）
	調査統計	不登校児童生徒調査、非行問題行動調査、教育相談員活動状況調査 等
	研究等	安部・木村教育学術研究論文の公募

（2）深谷市適応指導教室「いきいき教室」

平成15年3月、県適応指導教室閉鎖に伴い、同年4月より長期にわたり欠席している児童生徒に対して、個別指導を通して、基礎学力を補充し、社会性を身に付け、学校に復帰する意欲を喚起することを目的にして開設した。

場所：深谷市立教育研究所3階

指導時間：月～金曜日 午前9時～15時

指導者：教育研究所専門員3人、大学生ボランティア

（3）通級指導教室

小・中学校の教育活動の一環として、学校以外の施設での通級による指導を実施する。教育課程上に位置づけて、自立活動を中心とした指導と、児童生徒の教育的ニーズにより教科指導の補充を行う。

通級指導教室一覧

藤沢小学校通級指導教室	発達障害・情緒障害
深谷小学校通級指導教室	難聴・言語、発達障害・情緒障害
深谷中学校通級指導教室	発達障害・情緒障害

（4）教育の情報化

① 教育の情報化推進計画

深谷市では、合併前の旧深谷市時代から情報教育を推進しており、平成2年度に中学校に、平成4年度から小学校にコンピュータを主軸としたマルチメディア教室を設置し、情報教育の進展を図っている。

平成8年度から、旧深谷市内全小中学校でインターネット接続を実施した。

平成13年度からは普通教室・特別教室用コンピュータの整備とインターネットの高速化を図り、教育の情報化を推進している。

現在、ハードウェアの整備、ソフトウェアの整備、教職員の研修を教育委員会施策の3つの柱にし、情報教育センターを拠点に積極的に推進している。また、校務の情報化を図り、教員一人一台のコンピュータを配備し、校務の効率化及び学校ホームページによる情報発信を進めている。

② 平成27年度「教育の情報化に関する研修」

平成27年度は、夏季休業中を利用して次のような研修を実施し、教職員の情報活用能力の育成に努める。

平成27年度「情報教育に関する研修」一覧

研修名	内 容
ホームページ管理者研修	【対象者】ホームページ管理者 【内 容】ネットモモンズを活用したホームページの管理・運用研修
深谷市校務支援システム研修	【対象者】コンピュータ活用初級～中級者等 【内 容】深谷市校務支援システムを活用しての連絡メールの配信及び職員室内で行う校務処理ソフトの活用
授業におけるICT活用研修	【対象者】学級担任、教科担任 【内 容】授業における効果的なICT、活用方法についての研修
ホームページ作成研修会	【対象者】コンピュータ活用初級～中級者 【内 容】ネットモモンズを活用したホームページの作成研修

(5) ALT（外国語指導助手）の活動

① 授業日数と時間数（平成26年度実績）

	授業日数（延べ）	時間数（延べ）
小学校（19校）	1,348 日	5,018 時間
中学校（10校）	1,032 日	3,126 時間
合 計	2,380 日	8,144 時間

◆深谷市では平成21年度から平成26年度まで文部科学省の研究指定を受けたことから、平成27年度からも小学校3年生以上で外国語活動の授業を行っています。

② その他の学校教育活動（平成26年度実績）

- ・市内小・中学校における学校行事への参加（入学式、卒業式、体育祭、文化祭等）
- ・市内各幼稚園における行事への参加（クリスマス会等）
- ・市内小・中学校における英語指導教材作成
- ・深谷地区中学生英語弁論大会に係る指導



6. 小学校・中学校紹介

(1) 小学校



深谷市立明戸小学校

所在地 〒366-0015 深谷市蓮沼413番地

TEL 571-0868 FAX 571-7954

校長 菊池 正彦

教頭 今井 和美

〔学校の現況〕

校地面積	18,962 m ²	児童数	228 人
校舎延面積	4,103 m ²	学級数	10 学級
運動場面積	10,317 m ²	教職員数	16 人

〔教育目標〕

- ・学ぶ力のある子
- ・心の豊かな子
- ・たくましく生きる子



深谷市立幡羅小学校

所在地 〒366-0042 深谷市東方町3丁目25番地1

TEL 571-0517 FAX 571-7774

校長 斉藤 実

教頭 高木 千津子

〔学校の現況〕

校地面積	24,176 m ²	児童数	534 人
校舎延面積	4,872 m ²	学級数	20 学級
運動場面積	10,000 m ²	教職員数	30 人

〔教育目標〕

- ・やさしく
- ・かしこく
- ・たくましく



深谷市立深谷小学校

所在地 〒366-0822 深谷市仲町19番1号

TEL 571-0329 FAX 571-0559

校長 篠崎 正明

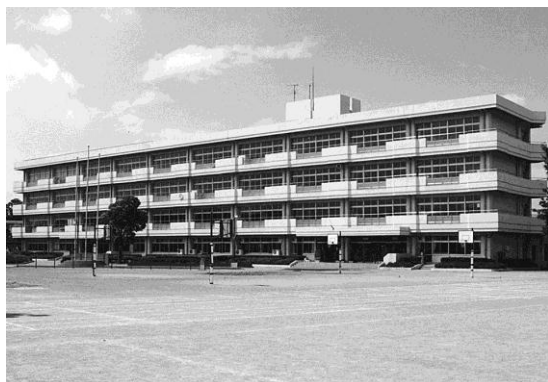
教頭 下条 徹

〔学校の現況〕

校地面積	31,821 m ²	児童数	605 人
校舎延面積	5,057 m ²	学級数	20 学級
運動場面積	17,600 m ²	教職員数	37 人

〔教育目標〕

- ◎こころざし高く
思いやりのある深小っ子の育成
- 目指す児童像
 - ・夢をもち一步一步努力する子
 - ・よく考え生き生きと学ぶ子
 - ・心身を鍛えすくすくと伸びる子
 - ・思いやりがあり正しく進む子





深谷市立桜ヶ丘小学校

所在地 〒366-0801 深谷市上野台 508 番地

TEL 571-0967 FAX 571-6966

校長 河田 重三

教頭 佐藤 秀昭

〔学校の現況〕

校地面積	25,952 m ²	児童数	619 人
校舎延面積	6,129 m ²	学級数	20 学級
運動場面積	11,332 m ²	教職員数	32 人

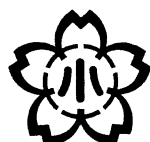
〔教育目標〕

腰骨を立て、自分からとりくむ桜の子

- ・よく学ぶ子
- ・おもいやる子
- ・きたえる子

—校訓—

「よく学び・よく遊べ」



深谷市立大寄小学校

所在地 〒366-0831 深谷市内ヶ島 660 番地

TEL 571-0774 FAX 571-8221

校長 宇野 澄男

教頭 笠原 直史

〔学校の現況〕

校地面積	15,858 m ²	児童数	171 人
校舎延面積	3,060 m ²	学級数	9 学級
運動場面積	11,679 m ²	教職員数	15 人

〔教育目標〕

- ・よく考える子
- ・思いやりのある子
- ・がんばりぬく子

〇めざす学校像

—夢をはぐくみ お互いを支え合う 笑顔があふれる大寄小—



深谷市立藤沢小学校

所在地 〒366-0811 深谷市人見 1626 番地

TEL 571-2107 FAX 571-2648

校長 矢島 久

教頭 木村 宏

〔学校の現況〕

校地面積	19,451 m ²	児童数	626 人
校舎延面積	4,845 m ²	学級数	21 学級
運動場面積	9,040 m ²	教職員数	35 人

〔教育目標〕

〔なかよく・かしこく・たくましく〕

〇目指す児童像

「自分で生きていける力を身につける
ことに努力する児童の育成」





深谷市立深谷西小学校

所在地 〒366-0827 深谷市栄町 14 番 18 号

TEL 571-0250 FAX 571-7064

校長 茂 木 隆 資

教 頭 梅 澤 修

〔学校の現況〕

校地面積	28,679 m ²	児童数	563 人
校舎延面積	5,188 m ²	学級数	21 学級
運動場面積	14,880 m ²	教職員数	30 人

〔教育目標〕

- ・かしこい子
- ・やさしい子
- ・たくましい子



深谷市立常盤小学校

所在地 〒366-0034 深谷市常盤町 58 番地 2

TEL 571-4923 FAX 571-4924

校長 清 水 隆

教 頭 横 田 茂 男

〔学校の現況〕

校地面積	21,941 m ²	児童数	611 人
校舎延面積	5,674 m ²	学級数	21 学級
運動場面積	9,349 m ²	教職員数	34 人

〔教育目標〕

- 生きる力・夢見る力の育成
- かしこく やさしく たくましく
- 目指す児童像
- たくましく生きる子
- ・進んで学ぶ子
 - ・なかよく助け合う子
 - ・明るく元気な子



深谷市立八基小学校

所在地 〒366-0002 深谷市下手計 1300 番地

TEL 587-2250 FAX 587-2296

校長 柴 崎 千 穂

教 頭 榊 高 一

〔学校の現況〕

校地面積	19,633 m ²	児童数	178 人
校舎延面積	3,044 m ²	学級数	9 学級
運動場面積	11,579 m ²	教職員数	15 人

〔教育目標〕

- かしこく なかよく たくましく





深谷市立上柴西小学校

所在地 〒366-0052 深谷市上柴町西5丁目11番地1

TEL 571-7580 FAX 571-7120

校長 白井 裕一

教頭 森田 豊

〔学校の現況〕

校地面積	22,805 m ²	児童数	616人
校舎延面積	5,351 m ²	学級数	22学級
運動場面積	12,830 m ²	教職員数	37人

〔教育目標〕

「かしこく（知育）やさしく（徳育）たくましく（体育）」

○目指す児童像

- ・自ら学び、自ら考え、最後までがんばる子
- ・明るく、元気よく、あいさつする子
- ・「ありがとう」の気持ちを素直に表現できる子
- ・友だちと仲良く遊び、善悪の判断ができる子
- ・運動に親しみ、心身ともに鍛える子



深谷市立上柴東小学校

所在地 〒366-0051 深谷市上柴町東5丁目9番地1

TEL 573-7435 FAX 573-7477

校長 松村 郁己

教頭 兵頭 一樹

〔学校の現況〕

校地面積	28,055 m ²	児童数	506人
校舎延面積	4,437 m ²	学級数	19学級
運動場面積	15,346 m ²	教職員数	29人

〔教育目標〕

- ・本気で学ぶ子 ー本気でー
- ・思いやりがある子 ー仲よくー
- ・進んで運動する子 ー元気よくー



深谷市立豊里小学校

所在地 〒366-0019 深谷市新戒635番地

TEL 587-2002 FAX 587-2276

校長 栗田 敦

教頭 浅見 哲也

〔学校の現況〕

校地面積	20,223 m ²	児童数	195人
校舎延面積	3,138 m ²	学級数	8学級
運動場面積	10,723 m ²	教職員数	15人

〔教育目標〕

- ・よく学ぶ子（やるきいっぱい）
- ・思いやりのある子（やさしさいっぱい）
- ・体力のある子（げんきいっぱい）





深谷市立岡部小学校

所在地 〒369-0203 深谷市普濟寺 1305 番地

TEL 585-2023 FAX 585-6606

校長 簗 輪 進 司

教頭 嶋 田 富 男

〔学校の現況〕

校地面積	17,183 m ²	児童数	346 人
校舎延面積	3,775 m ²	学級数	16 学級
運動場面積	8,520 m ²	教職員数	28 人

〔教育目標〕

「正しく 豊かに」

○よく学ぶ子

○思いやる子

○きたえる子



深谷市立榛沢小学校

所在地 〒369-0223 深谷市榛沢 802 番地 1

TEL 585-2715 FAX 585-6607

校長 渋谷 肇 彦

教頭 黒 沢 みどり

〔学校の現況〕

校地面積	21,773 m ²	児童数	181 人
校舎延面積	2,807 m ²	学級数	8 学級
運動場面積	12,812 m ²	教職員数	15 人

〔教育目標〕

「ありがとう」があふれる学校

はんざわ

○進んで勉強する子

○思いやりのある子

○体をきたえる子



深谷市立本郷小学校

所在地 〒369-0213 深谷市針ヶ谷 506 番地

TEL 585-4191 FAX 585-6608

校長 栗 原 孝 子

教頭 小谷野 聖 二

〔学校の現況〕

校地面積	35,833 m ²	児童数	270 人
校舎延面積	3,122 m ²	学級数	12 学級
運動場面積	17,037 m ²	教職員数	21 人

〔教育目標〕

◎思いやりのある子

◎よく考える子

◎がんばる子



『あいさつ日本一』『笑顔があふれる』本郷小学校



深谷市立岡部西小学校

所在地 〒369-0201 深谷市岡 2949 番地

TEL 585-4892 FAX 585-6609

校長 加藤 修

教頭 新島 穰二



〔学校の現況〕

校地面積	26,024 m ²	児童数	282 人
校舎延面積	2,808 m ²	学級数	13 学級
運動場面積	14,333 m ²	教職員数	22 人

〔教育目標〕

- ・おもいやりのある子
- ・かんがえる子
- ・にこにこ明るい子
- ・しっかりがんばる子



深谷市立川本北小学校

所在地 〒369-1101 深谷市長在家 143 番地

TEL 583-2007 FAX 583-6616

校長 新井 英男

教頭 中島 幹夫



〔学校の現況〕

校地面積	17,751 m ²	児童数	445 人
校舎延面積	4,757 m ²	学級数	16 学級
運動場面積	8,301 m ²	教職員数	25 人

〔教育目標〕

豊かな心をもち
たくましく生きる
児童の育成
やさしく
かしこく
たくましく



深谷市立川本南小学校

所在地 〒369-1105 深谷市本田 4888 番地

TEL 583-3019 FAX 583-6509

校長 勝山 寛美

教頭 風間 勉



〔学校の現況〕

校地面積	30,159 m ²	児童数	201 人
校舎延面積	3,772 m ²	学級数	9 学級
運動場面積	12,100 m ²	教職員数	15 人

〔教育目標〕

進んで学ぶ子
思いやりのある子
体をきたえる健康な子



深谷市立花園小学校

所在地 〒369-1246 深谷市小前田 1463 番地 1

TEL 584-0478 FAX 584-0479

校長 持田 倫武

教頭 笠原 康男



〔学校の現況〕

校地面積	32,737 m ²	児童数	721 人
校舎延面積	5,421 m ²	学級数	23 学級
運動場面積	12,659 m ²	教職員数	37 人

〔教育目標〕

◎豊かな心で自ら学び、
たくましく活動する子どもを育てる

- ① はなしをよく聞き、よく学ぶ子
- ② なかまとなかよく協力する子
- ③ そとで元気に活動する子
- ④ のぞみにむかってがんばる子

「笑顔と元気、夢・未来」



（2）中学校



深谷市立明戸中学校

所在地 〒366-0016 深谷市新井 18 番地

TEL 571-0869 FAX 573-0634

校長 青木 透

教頭 飯田 明



〔学校の現況〕

校地面積	24,796 m ²	生徒数	87 人
校舎延面積	3,035 m ²	学級数	4 学級
運動場面積	13,638 m ²	教職員数	12 人

〔教育目標〕

- ・自ら進んで学ぶ生徒（思えよ わが理想）
- ・思いやりのある生徒（光れよ わが心）
- ・健康で粘り強い生徒（鍛えよ わがからだ）



深谷市立幡羅中学校

所在地 〒366-0034 深谷市常盤町 38 番地

TEL 571-0229 FAX 571-0328

校 長 大 澤 誠 一

教 頭 小 林 義 治

〔学校の現況〕

校地面積	36,193 m ²	生徒数	591 人
校舎延面積	5,744 m ²	学級数	18 学級
運動場面積	18,390 m ²	教職員数	38 人

〔教育目標〕

高く志を抱き

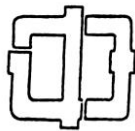
心豊かにたくましく生きる生徒の育成

＜目指す生徒像＞

○心を磨く生徒

○本気で学ぶ生徒

○体を鍛える生徒



深谷市立深谷中学校

所在地 〒366-0821 深谷市田谷 45 番地 2

TEL 571-0451 FAX 571-0775

校 長 神 田 昌 文

教 頭 福 島 隆 史

〔学校の現況〕

校地面積	42,001 m ²	生徒数	458 人
校舎延面積	6,715 m ²	学級数	15 学級
運動場面積	21,248 m ²	教職員数	34 人

〔教育目標〕

志高く

・自ら考え 学び続ける生徒

・心豊かで 思いやりのある生徒

・体を鍛え やり抜く生徒



深谷市立藤沢中学校

所在地 〒366-0811 深谷市人見 1973 番地

TEL 571-0742 FAX 573-0408

校 長 山 口 勝

教 頭 向 井 均

〔学校の現況〕

校地面積	44,105 m ²	生徒数	299 人
校舎延面積	3,930 m ²	学級数	11 学級
運動場面積	19,994 m ²	教職員数	25 人

〔教育目標〕

確かな学力の向上と健やかな心身の育成

・自ら学ぶ生徒（基は固く）

・心豊かな生徒（心は清く）

・たくましい生徒（意気こそ強く）





深谷市立豊里中学校

所在地 〒366-0002 深谷市下手計 525 番地

TEL 587-2150 FAX 587-2153



〔学校の現況〕

校地面積	23,646 m ²	生徒数	201 人
校舎延面積	4,743 m ²	学級数	8 学級
運動場面積	11,000 m ²	教職員数	19 人

校長 高橋 明 美
教頭 藤野 香

〔教育目標〕

- ・自ら進んで学習する生徒
- ・正しい判断力を持った生徒
- ・明るく思いやりのある生徒
- ・強くたくましい生徒



深谷市立南中学校

所在地 〒366-0818 深谷市萱場 320 番地

TEL 572-8373 FAX 572-9638



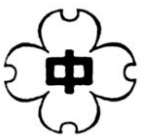
〔学校の現況〕

校地面積	38,642 m ²	生徒数	544 人
校舎延面積	5,296 m ²	学級数	17 学級
運動場面積	23,000 m ²	教職員数	33 人

校長 吉野 雅彦
教頭 相川 至宏

〔教育目標〕

- ・よく学び、よく習う（知）
- ・心を耕し、体を鍛える（徳・体）



深谷市立上柴中学校

所在地 〒366-0052 深谷市上柴町西 2 丁目 23 番地 1

TEL 573-7438 FAX 573-1206



〔学校の現況〕

校地面積	33,087 m ²	生徒数	647 人
校舎延面積	6,526 m ²	学級数	19 学級
運動場面積	18,692 m ²	教職員数	42 人

校長 北川 博寛
教頭 齊藤 寛

〔教育目標〕

- 「夢・志の実現」
- ・自ら学ぶ生徒
- ・心豊かな生徒
- ・たくましい生徒



深谷市立岡部中学校

所在地 〒369-0217 深谷市山河 1214 番地

TEL 585-2623 FAX 585-6055

校 長 吉 田 勇

教 頭 平 井 慶 益

〔学校の現況〕



校地面積	39,130 m ²	生徒数	522 人
校舎延面積	5,854 m ²	学級数	17 学級
運動場面積	21,548 m ²	教職員数	34 人

〔教育目標〕

- ・志を持ち自ら学ぶ生徒
- ・豊かな心を持ち礼儀正しい生徒
- ・健康でねばり強く取り組む生徒



深谷市立川本中学校

所在地 〒369-1108 深谷市田中 530 番地

TEL 583-2014 FAX 583-3004

校 長 福 島 陽 一

教 頭 清 水 正 之

〔学校の現況〕



校地面積	45,662 m ²	生徒数	365 人
校舎延面積	5,206 m ²	学級数	13 学級
運動場面積	30,000 m ²	教職員数	28 人

〔教育目標〕

自ら学ぶ意欲と豊かな心を持ち、
主体的に行動できるたくましい生徒の育成

- ・自主的で意欲的に学ぶ生徒
- ・心豊かで思いやりのある生徒
- ・健康でねばり強い生徒



深谷市立花園中学校

所在地 〒369-1246 深谷市小前田 1980 番地

TEL 584-0634 FAX 584-0635

校 長 清 水 勉

教 頭 細 野 佳 司

〔学校の現況〕



校地面積	54,667 m ²	生徒数	359 人
校舎延面積	4,943 m ²	学級数	12 学級
運動場面積	15,004 m ²	教職員数	24 人

〔教育目標〕

心を磨く生徒
真摯に学ぶ生徒
体を鍛える生徒

立志・忠恕・あいさつ日本一の学校

7. 幼稚園教育

(1) 幼稚園概要

① 現 況

本市の幼稚園教育は歴史も古く、大正9年から深谷市立幼稚園の前身として創立され、その後幼稚園と小学校の一貫した教育を目指し、昭和54年までに10園が併設園として設置され、平成18年1月1日市町村合併により12園となる。

幼児期は、生涯にわたる人間形成の基礎を確立する最も大切な時期に当たることを重視し、就学前の幼児がスムーズに小学校生活に入れるようにするための基礎づくりを考慮している。更に保護者や地域のニーズに応じて、平成12年度から2年保育を段階的に実施し、平成16年度には全園で実施した。各園とも2年間の一貫性をもった教育課程の編成や、保・小・中学校との連携を図るなど、幼児期にふさわしい生活が展開されるよう工夫や努力をしている。（大寄幼稚園・豊里幼稚園は、平成27年度休園中）

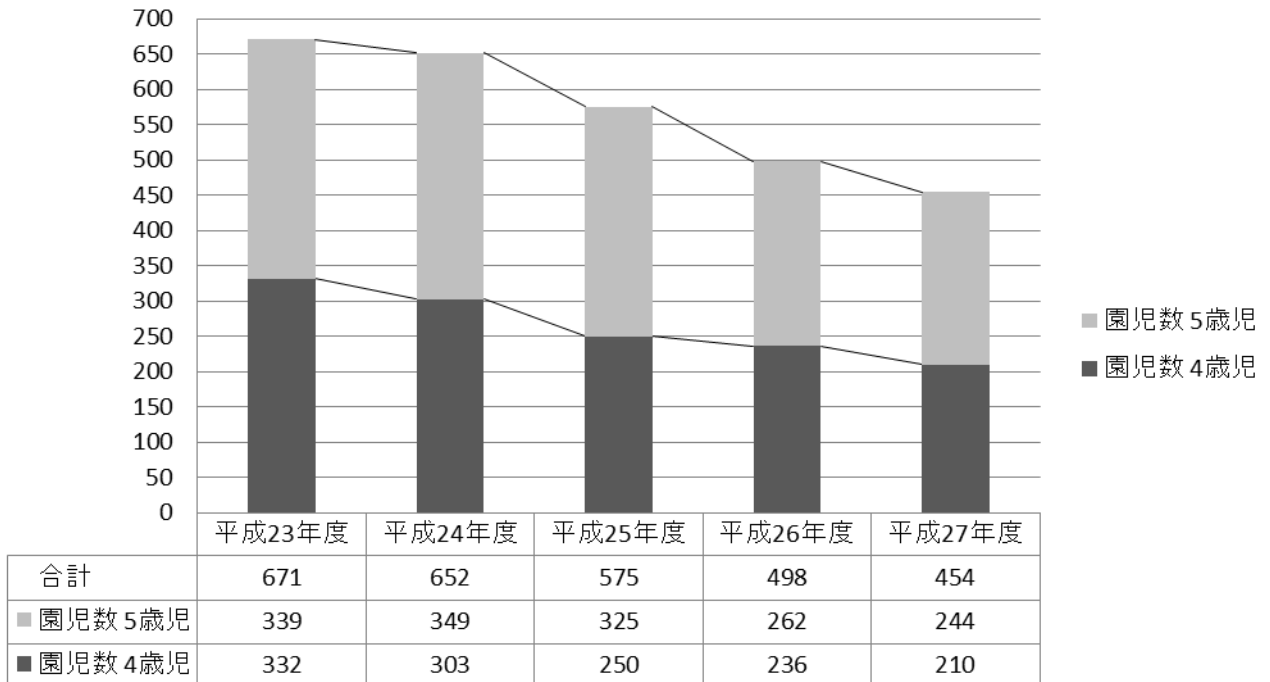
② 魅力ある幼稚園づくりの観点

- ・園長のリーダーシップの発揮と全職員の経営参加
- ・特色ある教育、創意工夫を生かした教育課程の編成
- ・学級経営の充実
- ・計画的な園内研修
- ・基本的な生活習慣の育成
- ・障害のある幼児の理解
- ・保・小・中学校や家庭・地域社会との積極的な連携



(2) 5年間の園児数の推移（各年5月1日現在）

（単位：人）



(3) 5年間の教職員数の推移（各年5月1日現在）

（単位：人）

年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
教職員数	61	62	68	66	61

(4) 幼稚園紹介

深谷市立明戸幼稚園

所在地 〒366-0015 深谷市蓮沼 413 番地
TEL・FAX 571-5602

園 長 菊 池 正 彦

教 頭 今 井 和 美

〔幼稚園の現況〕



園 地 面 積	2,632㎡	
園 舎 延 面 積	330㎡	
運 動 場 面 積	1,238㎡	
保 育 室	1 室	特別教室 2 室
4 歳 児 園 児 数	4 人	学級数 1 学級
5 歳 児 園 児 数	16 人	(異年齢保育)
教 職 員 数	7 人	

〔教育目標〕

- ・心のあたたかい子
- ・力いっぱいがんばる子
- ・明るく元気な子

深谷市立幡羅幼稚園

所在地 〒366-0042 深谷市東方町三丁目 25 番地 3
TEL・FAX 571-2787

園 長 斉 藤 実

教 頭 高 木 千津子

〔幼稚園の現況〕



園 地 面 積	2,201㎡	
園 舎 延 面 積	309㎡	
運 動 場 面 積	1,201㎡	
保 育 室	3 室	
4 歳 児 園 児 数	16 人	学級数 1 学級
5 歳 児 園 児 数	11 人	学級数 1 学級
教 職 員 数	5 人	

〔教育目標〕

- ◎ひとりひとりを生かし、こころ豊かで
たくましい子どもを育成する
- ・元気に
 - ・自分の思うことが表現できる子
 - ・力いっぱい遊べる子
 - ・なかよく
 - ・友達の話聞くことができる子
 - ・やさしさや思いやりのある子
 - ・たくましく
 - ・じぶんの力でやろうとする子
 - ・最後までがんばる子

深谷市立深谷幼稚園

所在地 〒366-0822 深谷市仲町 19 番 2 号
TEL・FAX 571-0948

園 長 篠 崎 正 明

教 頭 下 条 徹

〔幼稚園の現況〕



園 地 面 積	2,521㎡	
園 舎 延 面 積	542㎡	
運 動 場 面 積	559㎡	
保 育 室	3 室	遊戯室 1 室
教 材 室	1 室	職員室(保健室含む) 1 室
4 歳 児 園 児 数	30 人	学級数 1 学級
5 歳 児 園 児 数	26 人	学級数 1 学級
教 職 員 数	7 人	

〔教育目標〕

- ◎「夢と思いやりを育む」
- ・健康で生き生きとした子
 - ・友だちと仲よく遊べる子
 - ・感じたこと考えたことをのびのび表現できる子
 - ・自然に親しみ進んで物事に取り組む子

深谷市立桜ヶ丘幼稚園

所在地 〒366-0801 深谷市上野台 508 番地

TEL・FAX 571-2788

園 長 河 田 重 三

教 頭 佐 藤 秀 昭

〔幼稚園の現況〕

園 地 面 積	3,109 m ²		
園 舎 延 面 積	690 m ²		
運 動 場 面 積	935 m ²		
保 育 室	4 室	学童保育室	1 室
職 員 室	1 室		
4 歳児園児数	14 人	学級数	1 学級
5 歳児園児数	30 人	学級数	1 学級
教 職 員 数	7 人		



〔教育目標〕

- ◎腰骨を立て、意欲的に生き生きと活動できる子どもを育てる
 - ・明るくのびのびと遊べる子
 - ・友だちとなかよくできる子
 - ・遊びや仕事に最後まで取組める子

深谷市立大寄幼稚園

所在地 〒366-0831 深谷市内ヶ島 659 番地

TEL・FAX 571-5601

〔幼稚園の現況〕

園 地 面 積	1,919 m ²
園 舎 延 面 積	208 m ²
運 動 場 面 積	1,302 m ²



(平成27年度 休園中)

深谷市立藤沢幼稚園

所在地 〒366-0811 深谷市人見 1625 番地

TEL・FAX 571-5600

園 長 矢 島 久

教 頭 木 村 宏

〔幼稚園の現況〕

園 地 面 積	4,000 m ²		
園 舎 延 面 積	376 m ²		
運 動 場 面 積	2,850 m ²		
保 育 室	2 室		
特 別 室	2 室		
4 歳児園児数	14 人	学級数	1 学級
5 歳児園児数	15 人	学級数	1 学級
教 職 員 数	7 人		



〔教育目標〕

- ◎なかよく
- ◎かしこく
- ◎たくましく

深谷市立深谷西幼稚園

所在地 〒366-0827 深谷市栄町 14 番 19 号

TEL・FAX 571-2786

園 長 茂 木 隆 資

教 頭 梅 澤 修



〔幼稚園の現況〕

園 地 面 積	3,052 m ²	
園 舎 延 面 積	492 m ²	
運 動 場 面 積	2,008 m ²	
保 育 室	2 室	遊戯室 1 室
絵 本 の 部 屋	1 室	
4 歳 児 園 児 数	15 人	学級数 1 学級
5 歳 児 園 児 数	23 人	学級数 1 学級
教 職 員 数	6 人	

〔教育目標〕

- ・げんきな子
- ・やさしい子
- ・やりぬく子

深谷市立常盤幼稚園

所在地 〒366-0034 深谷市常盤町 69 番地 1

TEL・FAX 573-2558

園 長 関 根 幸 雄



〔幼稚園の現況〕

園 地 面 積	1,488 m ²	
園 舎 延 面 積	549 m ²	
運 動 場 面 積	600 m ²	
保 育 室	4 室	リズム室 1 室
4 歳 児 園 児 数	24 人	学級数 1 学級
5 歳 児 園 児 数	28 人	学級数 1 学級
教 職 員 数	4 人	

〔教育目標〕

◎健康な体と豊かな心の育成

深谷市立豊里幼稚園

所在地 〒366-0002 深谷市下手計 380 番地 1

TEL・FAX 587-3977



〔幼稚園の現況〕

園 地 面 積	2,440 m ²
園 舎 延 面 積	480 m ²
運 動 場 面 積	1,000 m ²

(平成 27 年度 休園中)

深谷市立上柴西幼稚園

園 長 荻 原 一 浩

所在地 〒366-0052 深谷市上柴町西 5 丁目 18 番地 5

TEL・FAX 573-5240

〔幼稚園の現況〕



園 地 面 積	2,690 m ²		
園 舎 延 面 積	664 m ²		
運 動 場 面 積	1,500 m ²		
保 育 室	6 室		
4 歳 児 園 児 数	25 人	学級数	1 学級
5 歳 児 園 児 数	46 人	学級数	2 学級
教 職 員 数	6 人		

〔教育目標〕

◎あかるく やさしく たくましく

<目指す幼児像>

- ・ 明るく伸び伸びと行動できる子
- ・ 友だちと仲良く遊べる子
- ・ 豊かな感性と意欲のある子

深谷市立おかべ幼稚園

園 長 福 島 辰 夫

所在地 〒369-0217 深谷市山河 1382 番地

TEL 585-4190 FAX 585-4240

〔幼稚園の現況〕



園 地 面 積	3,075 m ²		
園 舎 延 面 積	517 m ²		
運 動 場 面 積	962 m ²		
保 育 室	3 室	小ホール	1 室
4 歳 児 園 児 数	27 人	学級数	1 学級
5 歳 児 園 児 数	23 人	学級数	1 学級
教 職 員 数	5 人		

〔教育目標〕

- ・ 健康でたくましい子
- ・ みんなとなかよくする子
- ・ 自分の思いを素直に表現できる子

深谷市立花園幼稚園

園 長 川 上 美 恵 子

所在地 〒369-1246 深谷市小前田 1503 番地

TEL・FAX 584-1779

〔幼稚園の現況〕



園 地 面 積	3,771 m ²		
園 舎 延 面 積	856 m ²		
運 動 場 面 積	1,818 m ²		
保 育 室	6 室	リズム室	1 室
4 歳 児 園 児 数	41 人	学級数	2 学級
5 歳 児 園 児 数	26 人	学級数	1 学級
教 職 員 数	7 人		

〔教育目標〕

- ・ 健康で明るい子
元気にあいさつをし、楽しく活動できる子
- ・ きまりを守る子
人の話をしっかり聞き、約束が守れる子
- ・ なか良く遊べる子
あいてを思いやり友だちとなかよく遊べる子

Ⅲ 社会教育

1. 深谷市の社会教育の概要

◆ 生涯学習と社会教育の振興

国際化や情報化、そして少子高齢社会などの社会構造や環境の著しい変化に伴い、市民はライフサイクルの変化やライフステージに対応した学習機会の確保と提供を求めている、社会教育の果たす役割に大きな期待が寄せられている。

社会教育推進のためには、学習環境の整備充実・拡大が重要であり、このことは生涯にわたる学習機会の提供につながるものである。

また、ものの豊かさから心の豊かさへと人々の関心が移行する中で、市民の文化・芸術活動に対する意識は年々高まっており、文化財においても、史跡などの保存・整備、民俗資料や古文書の調査・収集、無形文化財の後継者の育成など、多くの関心が寄せられている。

ゆとりや潤いのある文化的環境を求める市民に応えるために、文化意識や郷土意識の高揚を図ることが必要であり、また、時代に即した学習環境の整備と豊かな市民文化を育てるため、市民の生涯にわたる多様な学習機会をつくり、「次代を担う人と文化をはぐくむまちの創造」を推進する。



2. 重点施策

(1) 家庭・地域の教育力の向上

① 家庭の教育力の向上

- ◆ 家庭教育の学習機会として、また子を持つ親同士のコミュニティや地域家庭教育の支援事業として、「親の学習」をはじめ家庭教育学級の充実を図る。
- ◆ 基本的な生活習慣や倫理観、自制心や自立心などを身に付けさせることができる家庭づくりを目指して、家庭教育の支援に努める。またボランティア活動を通じての社会参加や、地域ぐるみの教育活動を支援していく。

② 地域の教育力の向上

- ◆ 学校と連携し、子どもたちの安全・安心な活動拠点を設け、地域の人々の参画を得て、子どもの学習支援を図るほか、地域の様々な年代や職業に携わっている方々との交流活動等の機会を提供する。
- ◆ 文化・教養的事業などにより地域活動への参加促進を図るとともに、PTA 活動に対する支援等を行い、学校教育と社会教育の連携・強化を図る。
- ◆ 各種事業の展開を図る中でボランティア意識の高揚を図り、社会参加活動を促進する。

(2) 生涯を通じた学習活動の推進

① 学習機会の提供と学習活動の支援

- ◆ 生涯学習を推進するための計画の立案や社会教育における問題の把握・提言等を行うため、社会教育委員をはじめ、生涯学習の推進に係る体制整備を図る。
- ◆ 各種社会教育指導者の養成や確保を図り、人材の確保・拡大に努める。
- ◆ 公民館・図書館などの社会教育施設の相互の連携を強化する。
- ◆ 市民大学を実施し、郷土深谷を学ぶ機会や現在の社会における課題に対する学習の機会の充実を図る。
- ◆ 生涯学習センターや各地区公民館における、各種学級・講座の一層の充実を図ることにより、知識の習得と地域コミュニティの向上を図る。
- ◆ ボランティアによる社会活動への参加や、各地域活動への参加などの社会参加を促進するとともに、成人としての社会参加の意識の高揚を図る。

② 活動施設の整備・充実

- ◆ 既設の生涯学習センター・公民館など社会教育施設の有効活用を図りながら、整備と機能の充実に努める。

③ 図書館の整備・充実

- ◆ 市民の教養、調査、娯楽等に資するため、図書館資料の収集、整理、保存に努めるとともに、県立図書館などとの緊密な相互協力を図ることにより、図書館事業の充実・拡充を図る。



(3) 深谷らしい文化の創造

① 伝統文化の保存・継承と活用

- ◆ 市内に所在する各種文化財に関する基礎調査を実施し、適切な保存策を講じ、その活用を図る。また、史跡や建造物などの文化財の整備を図るとともに、その歴史的景観の保存に努める。
- ◆ 市内で実施される各種開発行為に対して、所在する埋蔵文化財の保護のため、発掘調査などの記録保存を図るとともに、重要な遺構・遺物が発見された場合には、その保護措置を講ずる。
- ◆ 市内に残る伝統芸能について、各保持団体の後継者育成や発表・公演活動に関して支援を行うとともに、市民に対して活動内容を広報する。
- ◆ 各種文化財を利用した展示活動や小冊子の発行などを通じて、市内の文化財に関する情報の提供を図り、市民の文化財保護意識の高揚に努める。同時に学校教育との連携を図り、学童の文化財保護意識の高揚にも努める。

② 文化・芸術活動の活性化

- ◆ 優れた芸術活動の推進や文化事業などを開催し、文化を大切にする心を育てるとともに、文化・芸術活動の充実を図り、文化・芸術水準の向上を目指す。
- ◆ 地域の特色を生かした文化活動を公民館や文化会館などの公共施設などにおいて幅広く推進する。
- ◆ 文化団体の発表や交流を進めるとともに、指導者の資質の向上と育成に努める。
- ◆ 優れた美術品の収蔵や展示公開を図り、市民への芸術活動の奨励に努める。
- ◆ 先人の調査・研究を進め郷土意識の高揚を図る。先人の遺徳を顕彰する。

3. 渋沢栄一記念館・公民館・文化会館紹介

(1) 渋沢栄一記念館

渋沢栄一記念館

館 長 坂 倉 茂

所在地 〒366-0002 深谷市下手計 1204 番地

TEL 587-1100 FAX 587-1101



1. 現 況

敷地面積	4,254.83 m ²
建物延面積	2,232.75 m ²
構 造	鉄筋コンクリート鉄骨造 2 階建
竣 工	平成 7 年 11 月
開 設 年 月	平成 7 年 11 月

2. 運営方針

深谷市教育委員会重点施策に基づき、渋沢栄一記念館の体制を整備するとともに、展示内容の充実を検討し、情報の収集と発信に努めるため、次の事項を重点的に推進する。

- ・ 渋沢栄一翁の顕彰の推進
- ・ 常設展示や企画展示の開催
- ・ 渋沢栄一関連資料や情報の収集
- ・ 作品解説や観光案内など来場者の受入体制の充実
- ・ 八基地区内「論語の里」の中核施設として団体との協働事業によるにぎわいの創出

(2) 公民館

深谷市深谷生涯学習センター・深谷公民館

所在地 〒366-0822 深谷市仲町 20 番 2 号

TEL 571-0506 FAX 574-8487

館 長 大 木 保

副館長 高 田 一 幸

副館長 内 田 研



公民館運営審議会委員	15 人
分 館 長	16 人
体 育 部 員	29 人
教 養 部 員	16 人

1. 現 況

敷地面積	5,449.72 m ²
建物延面積	2,644.22 m ²
構 造	鉄筋コンクリート造 2 階建

(一部鉄骨構造)

竣 工	平成18年 3 月
開 設 年 月	昭和22年 9 月
管 内 人 口	18,164 人
管内世帯数	7,620 世帯

2. 運営方針

「夢を育み明日に飛翔する笑顔都市ふかや」を目指す深谷市の将来都市像に基づいて、健康で人間性豊かな市民の育成と心の通いあう文化の香り高いまちづくりを推進し、地域生活の向上と生活文化の向上、地域連帯の強化に努める。

- ・豊かな心と、高い知性を育む。
- ・道徳心を養い、誠実な人間性を育む。
- ・郷土を愛する心と、地域の連帯を育てる。
- ・伝統を生かし、香り高い文化を育てる。

深谷市藤沢生涯学習センター・藤沢公民館

所在地 〒366-0811 深谷市人見1967番地 1

TEL 571-0345 FAX 574-5862

館 長 高 野 正 沖

副館長 神 田 栄 子

副館長 島 田 康 司



公民館運営審議会委員	14 人
分 館 長	20 人
体 育 部 員	58 人
教 養 部 員	47 人

1. 現 況

敷地面積	9,867.17 m ²
建物延面積	2,581.76 m ²
構 造	鉄筋コンクリート鉄骨造 2 階建

竣 工	平成15年 3 月
開 設 年 月	昭和29年 4 月
管 内 人 口	10,553 人
管内世帯数	3,905 世帯

2. 運営方針

個性と生きがいを育む教育・文化の環境づくりを推進するため、地域住民の生涯学習とコミュニティづくりの中心施設として、次の項目を重点に各種の事業を展開し、公民館の社会的使命を果たすように努める。

- ・生涯学習機会の提供と啓発に関する事業
- ・青少年の学習と活動に関する事業
- ・女性の学習と活動に関する事業
- ・高齢化社会に対応する事業
- ・人権尊重意識の高揚に関する事業
- ・自治能力の向上に関する事業
- ・健康の増進と生涯スポーツの推進に関する事業
- ・脱いだ靴をそろえる運動、あいさつ先手運動及びことばを大切にする運動の実践、推進に関する事業

深谷市幡羅生涯学習センター・幡羅公民館

所在地 〒366-0041 深谷市東方1370番地

TEL 575-1411 FAX 575-1441

館長 佐藤 靖彦

副館長 武 政 朔 二

副館長 里 見 喜 司



1. 現 況

敷地面積	15,224.34 m ²
建物延面積	2,727.42 m ²
構 造	鉄筋コンクリート・鉄骨造2階建
竣 工	平成7年1月
開設年月	昭和29年12月
管内人口	19,051 人
管内世帯数	7,548 世帯

2. 運営方針

社会教育法第20条の主旨に基づき、その実現に努力し、深谷市教育委員会の社会教育重点施策を受けながら同時に深谷市公民館条例及び同施行規則を守り、諸事を遂行する。

- ・親しまれる公民館の運営
- ・地域住民の生涯学習への関心を高め、時代に即応した生涯学習の推進
- ・地域の教育文化の向上、スポーツの振興
- ・3つの運動（脱いだ靴をそろえる・ことばを大切に
する・すすんであいさつをする）の推進
- ・地域住民の連帯意識、郷土愛の高揚
- ・住民の人権教育に対する正しい理解と認識を深め、思いやり、助け合いの啓発

公民館運営審議会委員	15 人
分 館 長	22 人
体 育 部 員	22 人
文 化 教 養 部 員	22 人

深谷市明戸生涯学習センター・明戸公民館

所在地 〒366-0015 深谷市蓮沼256番地

TEL 571-0872 FAX 574-5864

館長 田 村 博 範

副館長 湯 本 哲 昭

副館長 橋 本 哲



1. 現 況

敷地面積	6,103.65 m ²
建物延面積	2,179.74 m ²
構 造	鉄筋コンクリート造2階建（一部鉄骨造）
竣 工	平成19年12月
開設年月	昭和29年7月
管内人口	4,796 人
管内世帯数	1,884 世帯

2. 運営方針

深谷市教育委員会の社会教育重点施策を受けて、明戸地区の実情に即した施策を行うため、関係機関・団体との連携を密にし、地域住民のニーズを的確に把握し、住民が自主的・積極的に参加できる事業の実施に努める。また、地域住民に親しまれ、生涯学習、地域振興の拠点となる公民館を目指す。

- ・生涯学習の推進
- ・人権を尊重する教育の推進
- ・健康増進と生涯スポーツの推進
- ・地域住民の連帯感を深め、地域づくり活動の推進

公民館運営審議会委員	14 人
分 館 長	15 人
体 育 部 員	15 人
文 化 部 員	15 人

深谷市大寄公民館

所在地 〒366-0837 深谷市起会84番地 1
TEL 571-0341 FAX 574-5865

館 長 ハッ田 広 治
副館長 中 山 克 己
副館長 小 舟 敏 夫



公民館運営審議会委員	13 人
分 館 長	9 人
体 育 部 員	18 人
文 化 教 養 部 員	17 人
女 性 部 員	17 人

1. 現 況

敷 地 面 積	7,172.75 m ²
建物延面積	1,567.81 m ²
構 造	鉄筋コンクリート造 2 階建
竣 工	平成11年 8 月
開 設 年 月	昭和26年10月
管 内 人 口	3,525 人
管内世帯数	1,254 世帯

2. 運営方針

大寄地域住民が郷土に対しての想いを更に高め、他に誇れるふるさとづくりに専念できるよう、また、生涯学習や地域活性化等の事業推進拠点として、地域住民に親しまれる公民館運営に努める。

- ・生涯学習の推進
- ・人権を尊重する教育と心豊かな人づくりの推進
- ・健康増進と生涯にわたるスポーツ・レクリエーションの推進
- ・3つの運動（脱いだ靴をそろえよう・すすんであいさつをしよう・ことばを大切にしよう）の推進

八基公民館

所在地 〒366-0002 深谷市下手計 1204 番地
TEL 598-7757 FAX 587-1101

館 長 塚 原 寛 治
副館長 柿 沼 政 好
副館長 岩 崎 和 男



公民館運営審議会委員	12 人
分 館 長	13 人
体 育 部 員	15 人
教 養 部 員	15 人

1. 現 況

敷 地 面 積	4,254.83 m ²
建物延面積	2,232.75 m ²
構 造	鉄筋コンクリート鉄骨造 2 階建
竣 工	平成 7 年11月
開 設 年 月	昭和26年 4 月
管 内 人 口	3,857 人
管内世帯数	1,376 世帯

2. 運営方針

深谷市教育委員会重点施策を受けて、八基地区の実情に即した施策を行うため、学校及び関係機関、関係団体との連携を密にし、施策を立案するものとする。公民館運営においては住民が公民館活動に自主的・積極的、気軽に参加することが出来るような公民館の実現を目指し、次の事項を重点的に推進する。

- ・生涯学習の推進
- ・人権を尊重する教育と心豊かな人づくりの推進
- ・スポーツ・レクリエーション活動の振興
- ・家庭・地域の教育力の向上
- ・郷土の偉人 渋沢栄一翁の遺徳顕彰の促進

深谷市豊里公民館

所在地 〒366-0019 深谷市新戒639番地1
TEL 587-2111 FAX 587-1367

館長 岡谷 秀 明
副館長 河 田 重 之
副館長 剣 持 昭 夫



1. 現 況

敷地面積	6,068.00 m ²
建物延面積	2,069.18 m ²
構 造	鉄筋コンクリート造2階建
竣 工	平成5年3月
開設年月	昭和62年6月
管内人口	4,285 人
管内世帯数	1,578 世帯

2. 運営方針

深谷市教育委員会の社会教育重点施策を受けて、豊里地区の実情に即した施策を行うため、学校及び関係機関・団体と連絡を密にし、住民が公民館活動に自主的・積極的に参加するよう呼びかけ、気軽に出入りすることのできるような公民館の実現を目指し、次の事項について重点的に推進する。

- ・生涯学習の推進
- ・人権教育の推進
- ・健康増進と生涯スポーツの推進
- ・あいさつ先手運動、脱いだ靴を揃える運動、ことばを大切にしよう運動の推進

公民館運営審議会委員	15 人
分 館 長	13 人
体 育 振 興 会 長	11 人
ス ポ ー ツ 推 進 員	2 人
体 育 部 員	23 人
文 化 教 養 部 員	18 人
女 性 部 員	13 人

深谷市上柴生涯学習センター・上柴公民館上柴地区複合施設(キララ上柴)

〒366-0052 深谷市上柴町西4丁目2番地14
TEL 572-9001 FAX 574-5868

館長 金 井 好 照
副館長 福 島 勤
副館長 正 田 金 次



1. 現 況

敷地面積	10,544.36 m ²
建物延面積	1,910.78 m ² (共有部分を除く)
構 造	鉄骨造3階建 (3階部分)
竣 工	平成22年11月
開設年月	昭和57年6月
管内人口	19,426 人
管内世帯数	8,142 世帯

2. 運営方針

深谷市教育委員会の社会教育重点施策を受け、地区の実情に即した施策を行うために、関係機関及び学校や各種団体と連絡を密にし、地域住民のニーズを的確に把握し、住民が自主的・積極的に参加できる事業の実施に努める。また、地域住民に親しまれ、生涯学習、地域振興の拠点となる公民館を目指す。

- ・生涯学習の推進
- ・人権教育の推進
- ・健康増進と生涯スポーツの推進
- ・地域住民の連帯感を深め、地域づくり活動の推進

公民館運営審議会委員	15 人
分 館 長	20 人
体 育 部 員	47 人
文 化 部 員	40 人

深谷市南公民館

所在地 〒366-0810 深谷市宿根 645 番地 1
TEL 575-5550 FAX 575-5560

館 長 増 野 誠
副館長 茂 呂 敏 行
副館長 首 藤 紀 人



公民館運営審議会委員	15 人
分 館 長	13 人
体 育 部 員	26 人
文 化 教 養 部 員	26 人

1. 現 況
- | | |
|---------|-------------------------|
| 敷地面積 | 7,920.00 m ² |
| 建物延面積 | 2,265.49 m ² |
| 構 造 | 鉄筋コンクリート造 2 階建 |
| 竣 工 | 平成10年10月 |
| 開 設 年 月 | 平成10年10月 |
| 管 内 人 口 | 17,450 人 |
| 管内世帯数 | 7,224 世帯 |

2. 運営方針
- 深谷市教育委員会の社会教育重点施策を受け、南地区の実情に即した施策を行うために、関係機関及び学校や各種団体と連絡を密にし、地域住民の公民館活動への積極的な参加を呼びかけ、世代間交流の場とし、公民館と地域住民が一体となって開かれた公民館づくりを目指した運営を図る。
- ・花を活かした地域づくり
 - ・生涯学習の推進
 - ・人権を尊重する教育の推進
 - ・地域の連帯意識の醸成・郷土愛の高揚
 - ・健康増進と生涯スポーツの推進
 - ・青少年の健全育成の推進

深谷市岡部公民館

所在地 〒369-0217 深谷市山河 1324 番地 1
TEL 585-4974 FAX 585-4890

館 長 三 ツ 橋 正 記
副館長 川 上 幹 雄
副館長 強 瀬 誠



公民館運営審議会委員	15 人
分 館 長	19 人
体 育 部 員	66 人
教 養 部 員	38 人

1. 現 況
- | | |
|---------|-------------------------|
| 敷地面積 | 4,490.00 m ² |
| 建物延面積 | 1,837.56 m ² |
| 構 造 | 鉄筋コンクリート造 2 階建 |
| 竣 工 | 昭和53年 7 月 |
| 開 設 年 月 | 昭和53年 7 月 |
| 管 内 人 口 | 18,791 人 |
| 管内世帯数 | 7,097 世帯 |

2. 運営方針
- 深谷市教育委員会の社会教育重点施策を受けて、住みよい地域づくりを推進するため、関係機関・団体と連絡を密にし、生涯学習活動の地域拠点施設として、地域住民に親しまれ支えられる公民館を目指し、その実現のため地域ぐるみの社会教育活動を推進する。
- ・自ら学ぶ生涯学習の推進
 - ・人権を尊重する教育の推進
 - ・健康増進と、生涯スポーツの推進
 - ・脱いだ靴を揃える運動、あいさつ先手運動の推進

深谷市川本公民館

所在地 〒369-1104 深谷市菅沼1009番地
TEL 583-3234 FAX 583-3267

館 長 田 沼 亨
副館長 牧 山 雄 男
副館長 田 中 章 子



公民館運営審議会委員	13 人
分 館 長	21 人
体 育 部 員	42 人
教 養 部 員	42 人

1. 現 況

敷地面積	10,372.46 m ²
建物延面積	2,258.64 m ²
構 造	鉄筋・鉄骨コンクリート造 2階建
竣 工	昭和59年 3 月
開 設 年 月	昭和59年 9 月
管 内 人 口	12,329 人
管内世帯数	4,562 世帯

2. 運営方針

本市の将来都市像「夢を育み明日に飛翔する笑顔都市ふかや」に基づいて健康で心豊かな市民の育成と文化の香り高いまちづくりを推進し、生活文化の向上、地域連帯感の強化に努める。

- ・生涯学習の推進
- ・地域住民との連携・郷土愛の醸成
- ・健康増進と生涯スポーツの推進
- ・青少年健全育成の推進
- ・人権教育の推進

深谷市花園生涯学習センター・花園公民館

所在地 〒369-1246 深谷市小前田 2345 番地 1
TEL 584-2184 FAX 584-2394

館 長 田 沼 正 彦
副館長 金 子 正 信
副館長 小 林 和 江



公民館運営審議会委員	15 人
分 館 長	21 人
体 育 部 員	36 人
教 養 部 員	35 人

1. 現 況

敷地面積	9,265.82 m ²
建物延面積	2,727.92 m ²
構 造	鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造 2階建
竣 工	平成 25 年 12 月
開 設 年 月	昭和 31 年 9 月
管 内 人 口	13,179 人
管内世帯数	4,953 世帯

2. 運営方針

地域住民の出会いの場・ふれあいの場・学びの場として、地域づくりや生涯学習の拠点として、特色のある地域づくりや地域コミュニティを推進するため、関係する各種団体等との連携を図りながら、次の項目を重点に各種事業を展開していきます。

- ・生涯学習事業の充実
(生涯学習の推進、学習機会の提供、学習効果の還元)
- ・地域住民との連携
(自治会やボランティアとの連携)
- ・人権を尊重する心豊かな人づくりの推進
(人権意識の高揚)
- ・家庭・学校・地域の連携を強化、及び青少年健全育成活動の充実
(家庭教育学級の充実、さまざまな活動の機会と場の提供、子どもを育てる地域づくりの支援)
- ・広報活動等の充実
(広報活動の積極的な推進、学習情報の提供)

(3) 文化会館

深谷市民文化会館

所在地 〒366-0823 深谷市本住町 17 番 1 号

TEL 573-8765 FAX 573-8769



1. 現 況

敷地面積	9,564.58 m ²
建物延面積	6,061.31 m ²
竣 工	昭和56年 9 月
開 館	昭和56年11月
大 ホ ー ル	1,164 席 (固 定 席1,018席、移動席 146席) (車椅子スペース 4 席、母子席 6 席)
小 ホ ー ル	324 席 (固定席のみ、車椅子スペース 4 席)
楽 屋	大ホール 5 室 小ホール 2 室
リハーサル室	1 室 (63 m ²)
練 習 室	3 室 (第1 79 m ² 、第2 56 m ² 、第3 35 m ²)
展 示 室	1 室 (239 m ²)

深谷市花園文化会館 アドニス

所在地 〒369-1246 深谷市小前田 2966 番地

TEL 584-6125 FAX 584-6128



1. 現 況

敷地面積	12,316.00 m ²
建物延面積	2,440.20 m ²
竣 工	平成 4 年 8 月
開 館	平成 4 年11月
大 ホ ー ル	716 席 (固定席711席、車椅子スペース3席、母子室2席)
集会室 1・2	1 室 (約 200 人収容 207 m ²)
楽 屋	2 室 (7 人収容)
談 話 室	1 室 (約 20 人収容 16 畳)
ボランティアビューロー	1 室 (12 人収容 24 m ²)
シャワールーム	1 室

4. 平成27年度推進事業一覧（公民館事業を含む）

教養・情操的事業	そば打ち教室、パソコン教室、料理教室、日本酒教室、生物研究学習会、ガーデニング教室、健康教室、クラフトバンド教室、セルフマッサージ教室、温泉教室、手作り味噌講座、史跡めぐり教室、手工芸教室、女性教室、ハーブ教室、シルバーゼミナール、写真教室、囲碁・将棋教室、賀詞交歓会、俳句・川柳教室、歴史探訪、しめ縄飾りづくり、フウリン草展、菊花展、あさがお展、さつき展、美術盆栽展、芸能祭、山野草展、文学散歩、いきいきコミュニティカレッジ、福寿草の寄せ植え講習会、いきいき長寿のつどい、オカリナコンサート、お月見コンサート、煮ぼうとう会、門松作り、着付け教室、ブーメラン竹とんぼ教室、影絵の会、ふかや市民大学、子ども大学ふかや、人権を考える集い、人権問題指導者研修会、人権学習地域懇談会、防犯パトロール 等
芸術・文化的事業	子ども芸術・文化推進事業「アーティスト倶楽部」、文化芸術による子供の育成事業、企画展覧会、優秀映画鑑賞推進事業、美術品収蔵事業、深谷市美術展、文化祭、土器作り教室、どっき土器教室、歴史講座、畠山重忠顕彰事業、文化財展示事業
体育・レクリエーション事業	市民大運動会、ソフトボール大会、グラウンド・ゴルフ大会、野球大会、体育祭、民踊教室、バレーボール大会、ゲートボール大会、フットベースボール大会、軽スポーツ教室、ふれあいハイキング、バスハイキング、歩け歩け大会、骨盤調整ヨガ教室、スポーツ吹矢教室、おはなし会、もちつき大会、みんなのふれあい祭り、納涼祭、マス釣り大会、ファミリーゲートボール大会、ウォーキング、少年・少女マラソン大会、かるた大会、綱引き大会、公民館まつり、ローンボウルズ大会、少年・少女サッカー大会 等
家庭教育・青少年健全育成事業	家庭教育学級、親子料理教室、青少年スポーツ大会、子供講座、青少年スキー教室、夏休み子どもお楽しみ会、親子映画鑑賞会、子育て支援事業、竹馬づくり、かるた大会、子ども映画会、夏休みわんぱくランド、十日夜、まゆ玉づくり、七夕飾りコンクール、昔の遊び教室、ふるさと子ども祭り、親子の集い、がんばル〜ム、青少年問題指導者研修会、青少年非行防止街頭巡視、非行防止キャンペーン、子ども体験学習事業、子育てサロン、子育て講演会 等
その他事業	3つの運動、公民館だより発行、日本語教室、ガーデニングボランティア、公民館団体清掃



(5) 平成26年度事業別状況

(単位：人)

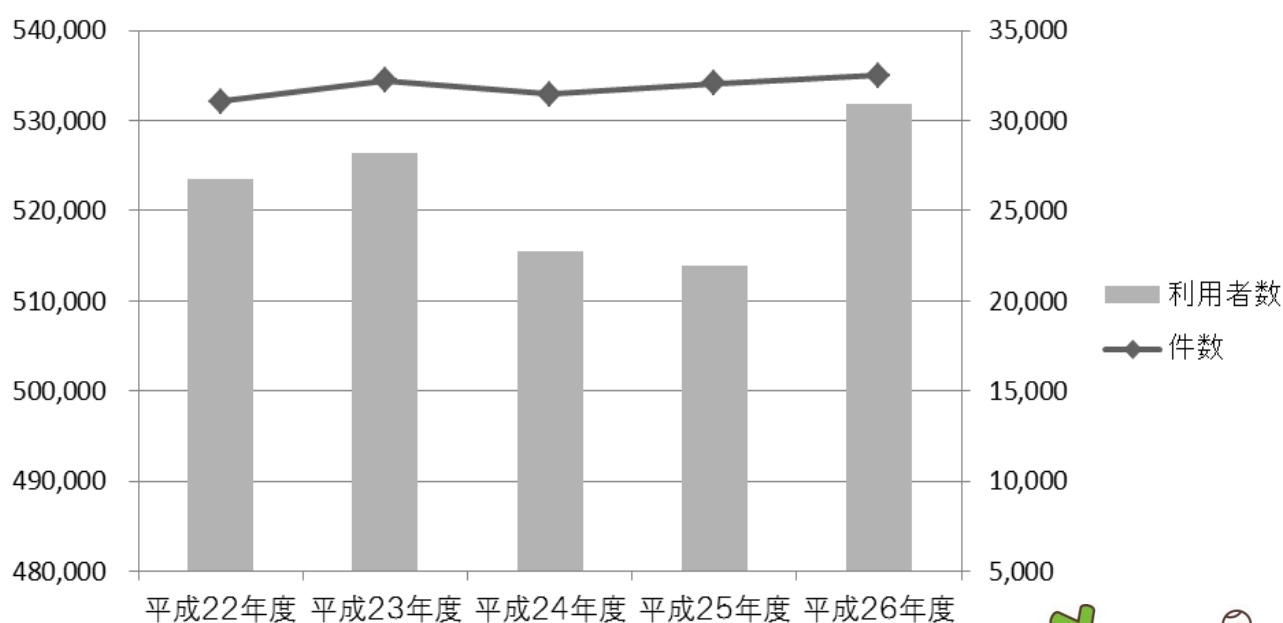
区 分	生涯学習課 文化振興課		公民館		合 計	
	参加者数	延人数	参加者数	延人数	参加者数	延人数
教養・情操的 事業	157	1,691	11,670	13,140	11,827	14,831
芸術・文化的 事業	8,434	8,638	7,220	9,384	15,654	18,022
体育・レクリエー ション事業	4,851	4,851	42,386	42,903	47,237	47,754
家庭教育・青少年 健全育成事業	1,022	18,007	9,416	10,963	10,438	28,970
文化財保護事業	4,512	4,512	-	-	4,512	4,512
文化財施設見学 (中の家・誠之堂・清風亭等)	42,680	42,680	-	-	42,680	42,680
そ の 他	43	375	21,573	22,009	21,616	22,384
合 計	61,699	80,754	92,265	98,399	153,964	179,153

(6) 利用状況

① 年度別生涯学習センター、公民館利用の推移

(単位：人)

(単位：件)



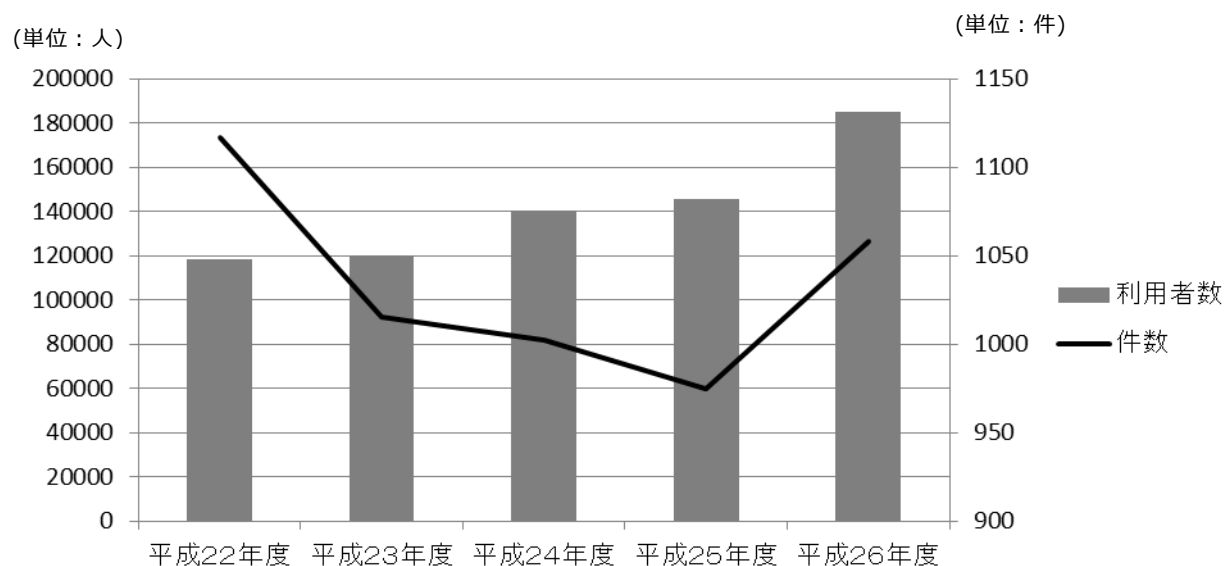
件 数 (件)	31,081	32,218	31,474	32,059	32,513
利用者数 (人)	523,505	526,460	515,488	513,817	531,850



② 平成26年度公民館別利用状況

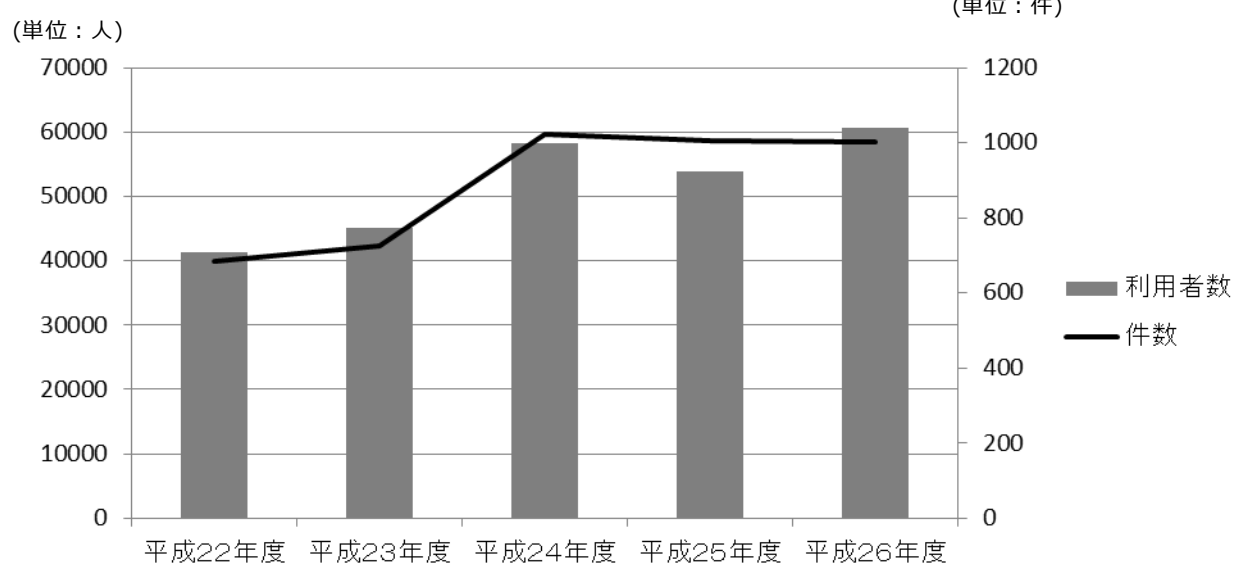
	深谷 公民館	藤沢 公民館	幡羅 公民館	明戸 公民館	大寄 公民館	八基 公民館
件数(件)	4,837	2,788	4,160	1,480	1,866	1,756
利用者数(人)	76,746	44,376	53,818	22,761	25,398	29,431
	豊里 公民館	上柴 公民館	南 公民館	岡部 公民館	川本 公民館	花園 公民館
件数(件)	1,369	4,485	3,646	1,983	1,570	2,573
利用者数(人)	23,950	80,277	65,776	36,487	33,154	39,676

③ 年度別文化会館利用状況（市民文化会館）



件数(件)	959	1,117	1,015	1,002	1,058
利用者数(人)	106,965	118,561	120,255	140,072	185,194

④ 年度別文化会館利用状況（花園文化会館アドニス）



件数(件)	803	685	725	1,022	1,003
利用者数(人)	52,758	41,358	45,126	58,228	60,620

5. 重要文化財など

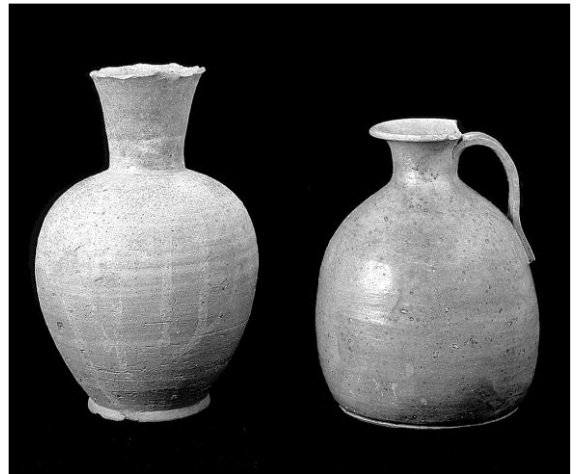
①緑釉手付瓶 附 灰釉瓶

榛沢地区の西浦北遺跡4号住居跡から出土した緑釉手付瓶は、並んで発見された灰釉瓶とともに昭和61年6月に重要文化財に指定された。

緑釉手付瓶とは、窯入れされ、熱を受けると緑色に変化する釉薬が塗られた焼き物で、把手が付いていることが大きな特徴と言える。完形品としては全国的にみても数少ない例である。

緑釉手付瓶の製作地は、古代の窯跡として名高い尾張国猿投窯（愛知県名古屋市）であり、製作された年代は、9世紀後半と考えられる。

東京国立博物館（平成館）に貸し出されている。



②日本煉瓦製造株式会社旧煉瓦製造施設

平成9年5月に、国の重要文化財に指定された日本煉瓦製造株式会社旧煉瓦製造施設は、旧事務所（日本煉瓦史料館）、ホフマン輪窯6号窯、旧変電室、備前渠鉄橋からなっている。

県内の重要文化財建造物としては21件目。近代化遺産の重要文化財としては、全国で5件目。県内では初めてである。

日本煉瓦製造株式会社旧煉瓦製造施設には、煉瓦焼成のための優れた構造を有したホフマン輪窯を中心として、工場の周辺建造物および日本最初の専用鉄道施設がそろって残る。この工場で作られた煉瓦は、東京駅をはじめとする東京の主要な建築に用いられたことが分かっており、本施設は、我が国の近代化の礎をなした施設として重要である。特に6号窯は、現在国内に残る数少ないホフマン輪窯のうちで最も規模が大きく代表的なものとして価値が認められる。

◆日本煉瓦製造株式会社設立の経緯

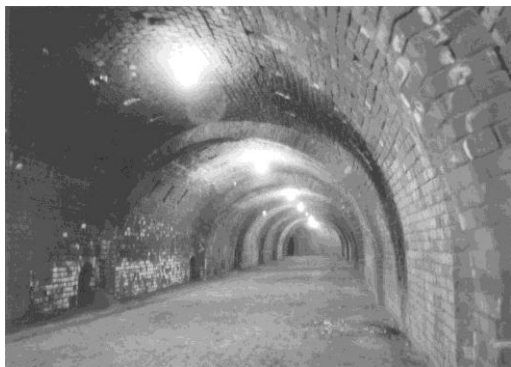
日本煉瓦製造株式会社（当時日本煉瓦製造会社）が創立された当時、明治政府は、諸外国と結んだ不平等条約を改正するため、帝国議会の開設が急務となっていた。

そのためには国会議事堂をはじめとする洋風官庁街の建設が必要であり、明治政府は、明治19年に臨時建築局を設立して日比谷に諸官庁を集める「官庁集中計画」に踏み切った。日本煉瓦製造株式会社は、明治政府が必要とした大量の煉瓦を供給するために、渋沢栄一、池田栄亮、益田孝の3人が中心となって明治20年（1887）に設立した日本煉瓦製造会社に始まる。工場の建設場所は、ドイツ人建築技師ベックマンおよびドイツ人煉瓦技師チーゼラの指導のもとに行われた調査の結果、良質の原土を産出し、利根川と通じて東京への輸送が可能な土地として現在地の上敷免の地が選定された。

・旧事務所（深谷市所有）

旧事務所は、明治21年頃に建設、「異人館」と呼ばれていたように、ドイツ人技師ナスチェンテス・チーゼとその令嬢が明治22年にドイツに帰国するまで住宅兼事務所として使用していた。帰国後は会社の事務所、昭和53年からは史料館として活用。

簡素なデザインを備えており、明治初期の洋風建築の特色がよく表れている。



・ホフマン輪窯6号窯（深谷市所有）

ホフマン輪窯6号窯は、明治40年に建設。

昭和43年に操業を停止。その全体は、18の焼成室に分かれ、月産生産高65万個の煉瓦が製造されたという。



・旧変電室（深谷市所有）

旧変電室は、明治39年の電灯線の架設時に建設。屋根や窓など多少の改修はあったものの建設時と変わらない姿のまま保存されている。

・備前渠鉄橋（深谷市所有）

備前渠鉄橋は、明治28年に日本煉瓦専用線が備前渠を通るために架設された鉄橋である。橋の南側には、鉄橋の西側近傍で備前渠から分岐する水路を越えるための煉瓦アーチ橋が附属する。昭和58年に深谷市に寄附され、現在は遊歩道となりレールなどが取り払われているものの、往時の姿をよくとどめている。



③誠之堂（重要文化財）・清風亭（埼玉県指定有形文化財）

「誠之堂」は平成15年5月30日に国の重要文化財に指定され、また「清風亭」は平成16年3月23日に、埼玉県指定有形文化財に指定されている。これらの建物は、渋沢栄一により創設された日本初の銀行、「第一国立銀行」の後身である第一銀行（現みずほ銀行）が現在の東京都世田谷区に所有していた保養施設「清和園」の敷地内に建てられていた。

当時は、一般には公開されていなかったが、建築学者や建築関係者の間では、いずれの建物も、大正時代を代表する建築物として、日本の西洋建築史上、重要な位置を占める建築物として知られていた。

平成9年9月、これらの建物を取り壊しの危機に瀕したのをきっかけとして保存運動が起こった。ともに深谷市出身の渋沢栄一にゆかりのある建物であったことから、深谷市が譲り受けることとなった。

このような文化的価値の高い建物、特に煉瓦建造物の移築は、深谷市に限らず日本でも初めてといえる試みであったため、日本建築学界の第一人者である鈴木博之東京大学教授や藤谷陽悦日本大学助教授、日本建築家協会保存検討委員会委員長である兼松紘一朗氏（職名はいずれも当時）を迎えて、市関係者を交えた移築保存検討委員会を設置し、移築方法の検討を重ねた。

検討の結果、移築場所は、当時新築が計画されていた大寄公民館敷地内と決められた。移築・復原工事は、建築を行った「清水組」の後身である清水建設株式会社が担当し、日本建築に多く見られる「大ばらし」を応用する日本初の工法により、工事が実施された。

約2年間の移築・復原工事を経て、誠之堂・清風亭は平成11年11月11日に落成式を迎えた。

深谷市では、これらの建物を保存・活用することを目的として「深谷市誠之堂・清風亭条例」を制定し、広く市民に公開している。



移築された誠之堂（右）・清風亭（左）

※詳細は「誠之堂・清風亭」のホームページをご覧ください。

:http://www.city.fukaya.saitama.jp/kanko/kanko/seisido_seifutei/1391497434025.html

④旧渋沢邸「中の家」・尾高惇忠生家（深谷市指定史跡）

『旧渋沢邸「中の家」』は、明治 28 年上棟の養蚕農家住宅で、渋沢栄一の妹夫婦によって建てられた。「尾高惇忠生家」は江戸時代後期に建てられたと伝わっている。尾高惇忠は富岡製糸場の初代場長となった人物であり、渋沢栄一の従兄にあたる。教育者として渋沢栄一の影響を与えた。幕末においては、この建物内で渋沢栄一をはじめとする憂国の志士たちによって、倒幕の密議が行われた。



旧渋沢邸「中の家」



尾高惇忠生家



6. 深谷市内所在文化財など件数一覧

(平成27年4月1日現在)

種 別	国 指 定 な ど			埼 玉 県 指 定		深 谷 市 指 定		合 計		
	種 類		件 数	種 類		件 数	種 類		件 数	
有 形 文化財	重 要 文化財	建 造 物	2	建 造 物	2	建 造 物	15	19		
		絵 画		絵 画	1	絵 画	23	24		
		彫 刻		彫 刻	1	彫 刻	21	22		
		工 芸 品		工 芸 品	1	工 芸 品	22	23		
		書跡・典籍・古文書		書跡・典籍・古文書	2	書跡・典籍・古文書	38	40		
		考 古 資 料	1	考 古 資 料	1	考 古 資 料	35	37		
		歴 史 資 料		歴 史 資 料		歴 史 資 料	12	12		
	小 計	3	小 計	8	小 計	166	177			
	登 録 有 形 文 化 財		13						13	
	小 計		13						13	
民 俗 文化財	重要有形民俗文化財			重要有形民俗文化財			重要有形民俗文化財	20	20	
	重要無形民俗文化財			重要無形民俗文化財		1	重要無形民俗文化財	25	26	
	小 計		0	小 計		1	小 計	45	46	
記念物	史 跡			史 跡		7	史 跡		42	49
	名 勝			名 勝			名 勝		2	2
	天 然 記 念 物			天 然 記 念 物			天 然 記 念 物		4	4
				旧 跡		5				5
	小 計		0	小 計		12	小 計		48	60
合 計			16			21			259	296

その他 ○埼玉県選定重要遺跡 11件

※詳細は「深谷市の歴史と文化財」のホームページをご覧ください。

「深谷市の歴史と文化財」: http://www.city.fukaya.saitama.jp/rekishi_bunkazai/index.html

○新規指定文化財

横瀬神社本殿及び拝殿

本殿は安永7年（1778）、岩瀬求馬正藤原治賢を棟梁として建立された。全体に、国宝の歓喜院聖天堂を手掛けたことで知られる前原藤次郎とその一門により、手の込んだ先進的な彫刻が施されている。棟札から建立年、大工棟梁、彫師が明らかであるとともに、保存状態も良く、埼玉県近世寺社特有の「彫刻装飾を施した寺社建築」の一例として貴重である。

拝殿は当初、文化6年（1809）に建立されたものの、なんらかの事情で失われ、明治32年（1899）に再建された。彫刻等細部に本殿の特異な技法や意匠を受け継ぎ、文化年間の部材も再用され、技術や地域的特質が明治になっても継承されたことを示しており貴重である。

平成27年3月13日付で埼玉県指定有形文化財に指定。



横瀬神社本殿



横瀬神社拝殿

Ⅳ 図 書 館

1. 施設の概要

外 観		
	深谷市立図書館	深谷市立岡部図書館
所 在 地	深谷市仲町19番3号	深谷市山河 1324 番地 1
延 床 面 積	2,290.94 m ²	103.80 m ²
竣 工	平成 2 年 1 1 月	昭和 5 3 年 1 1 月
開 設 年 月	昭和 2 9 年 3 月	昭和 5 3 年 1 1 月
外 観		
	深谷市立川本図書館	深谷市立花園こども情報交流図書館
所 在 地	深谷市菅沼 1146 番地 1	深谷市小前田 1463 番地 2
延 床 面 積	469.50 m ²	498.83 m ²
竣 工	平成 3 年 7 月	平成 17 年 3 月
開 設 年 月	平成 3 年 7 月	昭和 55 年 6 月

開 館 時 間	深谷市立図書館・・・午前 9 時～午後 7 時 岡部・川本・花園図書館・・・午前 10 時～午後 7 時
休 館 日	・月曜日（祝日の場合は開館し、その翌日が休館） ・館内整理日（毎月第 2 金曜日。その日が国民の祝日又は他の休館日に当たるときは、第 3 金曜日。特別整理期間を設ける月は除く。） ・年末年始（12月29日～1月3日） ・その他特別整理期間
ホ ー ム ペ ー ジ	http://www.lib.city.fukaya.saitama.jp/

2. 図書館運営の基本方針

図書館は、生涯学習の場として、市民の知る権利・学習する権利を保障するため、図書・記録・その他必要な資料を収集・整理・保存する。県立図書館や他の公立図書館等のネットワークを活用し、緊密な相互協力のもとに効果的な奉仕活動を展開する。また、読書活動の支援、情報提供能力を強化することにより、市民の福祉の向上や文化教養の醸成に寄与する。

○平成27年度重点目標

(1) 図書館資料の整備・充実に努める

- ①図書資料、郷土資料、視聴覚資料の適正な収集、整備、保存及び郷土資料データベースの作成
- ②各館の特徴を生かした資料の収集

(2) 奉仕活動の充実に努める

- ①迅速で正確な貸出処理と返却処理
- ②レファレンスサービスの強化
- ③障害者サービスの推進
- ④図書館ホームページによる各種の情報提供
- ⑤県立図書館、L・フォルテ、市内公民館、高等教育機関などとの相互協力の推進

(3) 読書活動の促進に努める

- ①おはなし会や季節行事、各種講座・講演会、展示会などの開催
- ②子ども読書活動推進計画の推進
- ③学校図書館との連携

(4) 快適な施設環境の提供に努める

- ①利用者の安全を優先した施設の維持管理
- ②施設・設備の改修及びメンテナンス



3. 業務の概要

(1) 資料管理

①図書館の取り扱う資料（図書館資料）

図 書	一 般	一般書、参考図書、郷土資料
	児 童	児童書、絵本、紙芝居
逐次刊行物		新聞、雑誌
視聴覚資料		D V D、C D、ビデオテープ、カセットテープ、レーザーディスク

②所蔵資料の充実

市販されている資料を選書し、購入する。寄贈本も受け入れる。

③管理保存

図書館資料は書架に配置して管理保存する。書架は、一般利用者が自由に資料に接することのできる開架書架とその立入りを禁じる閉架書架に分ける。さらに開架書架は資料の分類に応じてコーナーごとに配置する。

④図書の配列

利用者の利便性を考慮しながら、原則として日本十進分類法（N D C）に準じて配架する。なお、「大活字本」や「文庫本」、「大型絵本」等は別コーナーに配架する。

⑤書架整理

書架上の資料が適切に配置されるよう常に配慮して、配架を調整する。重要な資料や利用頻度の低い資料等は閉架に保管する。

⑥資料整備

現物資料と所蔵データとの不一致をなくすために、照合調査（蔵書点検）を行う。また、欠本や欠号の調査を行う。汚破損資料の補修も行う。

⑦除籍

図書館の資料収容能力を考慮し、資料価値が低下した資料や保存年限を経過した資料の除籍を行う。除籍資料のうち、再利用できるものはリサイクル本として市民に提供する。

(2) 利用サービス

①館内利用

館内での閲覧については基本的には制限を設けない。ただし、視聴覚資料の館内視聴、2階閲覧席での閲覧及び一部資料の閲覧に際しては、「館内閲覧」の手続きを必要とする。

②館外利用（貸出）

市内在住・在勤・在学の方への資料の館外貸出しを行う。広域利用の協定市町の住民等についてはこれに準じる。

③予約・リクエスト

貸出中の本や市内他館所蔵の資料は、予約することにより利用することができる。未所蔵の資料については、リクエストを受け付け、購入又は相互貸借により利用者への提供に努める。

④レファレンス

資料調査の希望者には、資料の紹介に努めてその調査活動の支援を行う。

⑤文献複写

所蔵資料については、著作権法の定める範囲において、実費による複写サービスを行う。

⑥図書郵送貸出

図書館への来館利用が困難な方へは、教育委員会の定めるところにより郵送による貸出サービスを行う。

⑦インターネット利用

情報化社会に対応して、インターネットに接続できる端末機を設置し、利用者に開放する。

⑧資料回送

市内各館間の資料回送を行い、利用者の身近な図書館へ資料を届ける。

(3) 行事その他

①相互貸借

図書館サービスの充実を期するため、埼玉県図書館協会加盟の県立図書館、他の公共図書館や大学図書館等との協定に基づき、所蔵資料の相互の貸し借りをを行う。

②図書館行事

乳幼児を対象とした「おはなし会」や「映画会」を定期的に行う。一般市民向けには「読書講演会」等を開催する。また、保健センターと協力して4か月児健診時の乳児とその保護者を対象とした絵本の読み聞かせと紹介を行う。

③図書館電算システムとホームページ

電算システムの更新により業務の迅速化、正確性の向上を図る。また、ホームページ内に「渋沢栄一」「こどもページ」のコーナーを設置し、ホームページ活用の増進を図る。

④図書館ボランティアの活用

「おはなし会」等においてボランティアを活用するため、絵本の読み聞かせ講座を開催するなど、ボランティアの育成を行う。

⑤読書会等の支援

市民の同好者の集まりである読書会等に対しては、読書会資料等の配付や読書講演会等の行事の通知、図書館施設の提供などにより読書活動の援助を行う。



4. 分類別蔵書数

(1) 図書資料

(平成27年3月末日現在)

分 類	一般図書	児童図書	郷土資料	合 計	比 率
総 記	7,246	1,373	564	9,183	2.5%
哲学宗教	10,267	655	286	11,208	3.0%
地理歴史	27,708	4,816	4,931	37,455	10.1%
社会科学	36,256	4,231	3,802	44,289	11.9%
自然科学	17,838	8,491	166	26,495	7.1%
工学・家庭	20,516	2,861	545	23,922	6.4%
産 業	9,599	2,147	474	12,220	3.3%
芸術・体育	27,455	3,986	645	32,086	8.6%
語学・言語	3,667	1,283	248	5,198	1.4%
文 学	99,061	33,244	784	133,089	35.7%
絵 本	—	34,674	—	34,674	9.3%
紙 芝 居	—	2,541	—	2,541	0.7%
合計	259,613	100,302	12,445	372,360	100.0%

(2) 視聴覚資料

種 別	C D	ビデオ	D V D	ネットテープ	その他	合 計
数 量	3,562	2,513	1,250	212	448	7,985

5. 平成26年度利用状況（L・フォルテ図書室を含む）

(1) 利用登録者数

種 別	個 人	郵 送	小 計	団 体	相互貸借	合 計
数 量	43,285	29	43,314	102	140	43,556

(2) 資料別貸出点数

種 別	一般資料	児童図書	郷土資料	視聴覚資料	雑 誌	合 計
個 人	307,035	226,604	1,664	22,767	31,657	589,727
郵 送	391	17	0	28	7	443
団体・相互	2,834	2,024	49	26	124	5,057
合計	310,260	228,645	1,713	22,821	31,788	595,227

(3) 視聴覚資料貸出点数内訳

種別	C D	ビデオ	D V D	ネットテープ	その他	合 計
貸出点数	8,077	1,507	13,075	60	102	22,821

V 社会体育

1. 社会体育計画の概要

高齢化や少子化、核家族化など著しく変貌する社会環境の中で、市民の健康・体力づくりやスポーツ・レクリエーション活動に対する意欲や関心が高まっている今日、スポーツ・レクリエーション活動の果たす役割は重要であり、市民の健康増進を一層高めるために、生涯スポーツを推進することがより求められている。

そのため、本市のスポーツ・レクリエーション活動の拠点となる深谷市総合体育館（深谷ビッグタートル）や仙元山公園をはじめとする屋外運動施設の利用促進と、小中学校の学校体育施設など、総合的により充実した活用を図っていくことが必要である。

また、多くの市民があらゆる機会をとらえ自発的にスポーツ・レクリエーション活動の実践が行えるように、スポーツ推進委員など社会体育関係指導者の育成・充実を図り、地域のスポーツ・レクリエーション活動の積極的な推進を図っていくことが重要となっている。

市民一人ひとりの心身の健全な発達と、明るく豊かで活力に満ちた生活を実現するために健康・体力づくりの奨励や、グループ・サークルなどの自主的活動の促進など社会体育の推進に努めていくものである。

また、平成26年度から開始した市民協働事業提案制度により、市と市民の協働による「深谷市の新たなスポーツ振興」に向け事業を進めている。



2. 重点施策

生涯にわたるスポーツ・レクリエーション活動の推進

（1）スポーツ・レクリエーション活動の環境整備

◆スポーツ・レクリエーション施設の整備・充実

身近な場でスポーツ・レクリエーションに親しめる環境づくりを推進するため、スポーツ・レクリエーション施設の整備・充実と利用方法の見直しを図る。

◆指導者の養成

地域におけるスポーツ・レクリエーションの指導者を育てるため、養成講座等を実施し、資質の向上と育成に努める。

（2）スポーツ・レクリエーション活動の活性化

◆スポーツ・レクリエーション活動への参加機会の充実

全国のランナーを対象とし、市民がスポーツ・レクリエーション活動に積極的に参加する機会の充実を図るため、ふかやシティハーフマラソンを開催する。

◆スポーツ・レクリエーション関係団体の活動支援

体育協会や、レクリエーション協会、スポーツ少年団などの社会体育関係団体の育成を図る。さらに傘下の各加盟団体の連携をより一層深めていくための支援を行い、各種のスポーツ・レクリエーション活動の活性化と情報の提供、組織体制の充実を図る。

◆スポーツ推進委員との連携の強化

市内各地域のスポーツ・レクリエーションの推進と地域住民の交流を深めるために、スポーツ推進委員との連携を強化し、地域住民のニーズに応えたスポーツ・レクリエーション教室の開催を促進する。

3. 平成27年度社会体育関係事業

主 な ス ポ ー ツ ・ レクリエーション教室	弓道教室、登山教室、クライミング教室、水泳教室、ソフトテニス教室、卓球教室、テニス教室、太極拳教室、少林寺拳法教室、剣道教室、ソフトボール教室、合気道教室、グラウンド・ゴルフ教室、ボールルームダンス教室、3B体操教室、軽スポーツ教室、ペタンク教室、レクリエーション指導者講習会
主 な ス ポ ー ツ ・ レクリエーション大会	市民大運動会、市民卓球大会、市民サッカー大会、市民バレーボール大会、市民ゴルフ大会、市民ソフトボール大会、市民クライミング大会、市民テニス大会、市民剣道大会、市民柔道大会、市民野球大会、市民バドミントン大会、市民水泳大会、市民弓道大会、市民少林寺拳法大会、市民太極拳大会、市民ソフトテニス大会、市民ソフトバレーボール大会、市民バスケットボール大会、市民ラグビーフットボール大会、タグラグビー大会、市民スキー大会、市民空手道大会、市民ハイキング、市民ペタンク大会、室内ペタンク大会、市民グラウンド・ゴルフ大会、市民クロスカントリー大会、歩け歩け大会、ボールルームダンス大会、レクリエーションフェア、東日本実業団対抗駅伝競走大会、日本スリーデーマーチ、ふかやシティハーフマラソン



4. 社会体育施設の概要

(1) 深谷市総合体育館（深谷ビッグタートル）



① 施設の概要

名 称 深谷市総合体育館（深谷ビッグタートル）
 電 話 ・ F A X （電話）048-572-3000 （FAX）048-572-3302
 所 在 地 深谷市上野台 2568 番地
 開 館 平成 5 年 11 月 1 日
 敷 地 面 積 20,158 m²
 延 床 面 積 12,731 m²
 施 設 規 模



- メインアリーナ：2,627.1 m²（63m×41.7m）
～バレーボール 3 面・バスケットボール 3 面・バドミントン 12 面～
- サブアリーナ：770 m²（35m×22m）
～バレーボール 1 面・バスケットボール 1 面・バドミントン 3 面～
- 武道場：830 m²（30m×18m）
～柔道場 353 m²・剣道場 306 m²・弓道場 210 m²～
- トレーニング室：416.5 m²
- 研修会議室：156 m²
- ランニングコース：1 周約 240m・幅約 2 m
- 卓球コーナー：93m²（卓球台 4 台）
- その他（更衣室・放送室・控室・記者室・ラウンジなど）

② 利用案内

休 館 日	年末年始（12月28日～1月4日）※ただし、臨時休館あり
開 館 時 間	9：00～22：00（日曜日は9：00～21：00）
受 付 時 間	8：30～20：00（ただし、日曜日は8：30～19：00）
利 用 許 可	・全面専用利用申請の場合、利用日の6ヶ月前から7日前まで ・個人利用は、当日利用券を購入（利用状況により個人利用できない場合あり）

(2) その他の社会体育施設一覧

施設名	所在地	施設の概要
深谷市民体育館	本住町 17-2	アリーナ 1,116 m ² (バレーボール2面・バスケットボール2面・ バドミントン6面・卓球12面)
深谷生涯学習センター体育室	仲町 20-2	アリーナ 720.09 m ² (バレーボール2面・ミニバス2面・ バドミントン3面)
明戸生涯学習センター体育室	蓮沼 258	アリーナ 901.7 m ² (バレーボール2面・バスケットボール1面・ バドミントン3面)
上柴公民館体育室	上柴町西 4-2-14	アリーナ 885.79 m ² (バレーボール2面・ミニバス2面・ バドミントン4面)
豊里公民館体育室	新戒 639-1	アリーナ 728.31 m ² (バレーボール2面・ミニバス2面・ バドミントン3面)
南公民館体育室	宿根 645-1	アリーナ 660 m ² (バレーボール2面・バスケットボール1面・ バドミントン2面)
大寄公民館体育室	起会 84-1	アリーナ 672.18 m ² (バレーボール1面・バスケットボール1面・ バドミントン3面)
藤沢生涯学習センター体育室	人見 1967-1	アリーナ 797.06 m ² (バレーボール2面・バスケットボール1面・ バドミントン4面)
幡羅生涯学習センター体育室	東方 1370	アリーナ 875 m ² (バレーボール2面・バスケットボール1面・ バドミントン3面)
渋沢栄一記念館・八基公民館多目的室	下手計 1204	アリーナ 590.91 m ² (バレーボール1面・バスケットボール1面・ バドミントン3面)
仙元山公園	上野台 2565	多目的広場(南) 12,000 m ² (北) 14,000 m ² 野球場(両翼 92m・センター 105m) 9,381 m ² 人工芝テニスコート6面 4,096 m ² クレートニスコート4面 2,800 m ²
仙元山公園陸上競技場	上野台 2569	敷地面積 32,000 m ² クレート舗装競技場(準天候型) グラウンド内面積 18,980 m ² (トラック周 400m 8コース) メインスタンド鉄筋コンクリート造 2階建(会議室・トイレ・更衣室他)
東公園野球場	幡羅町 14-1	敷地面積 20,900 m ² 球場面積 10,792 m ² (野球場)
上柴中央公園野球場	上柴町西 4-1-1	敷地面積 28,000 m ² 球場面積 9,545 m ² (両翼 90m・センター102m)
利根川緑地公園(豊里グラウンド)	深谷市中瀬地内 (利根川河川敷)	敷地面積 26,216 m ² 広場面積 16,000 m ² (ソフトボール場2面・サッカー場1面)
利根川緑地公園(高島グラウンド)	深谷市高島地内 (利根川河川敷)	敷地面積 12,320 m ² 広場面積 9,000 m ² (ソフトボール1面・サッカー場1面)
利根川緑地公園(中瀬ソフトボール場)	深谷市中瀬地内 (利根川河川敷)	敷地面積 26,500 m ² 広場面積 24,300 m ² (ソフトボール場4面)
柴崎公園自由広場	上柴町東 2-24-1	敷地面積 15,755 m ² 広場面積 7,420 m ² (ソフトボール1面)

施設名	所在地	施設の概要
東方公園自由広場	東方町 2-23	敷地面積 16,374 m ² 広場面積 7,420 m ² (ソフトボール 1 面)
明戸農村公園多目的広場	上増田 1055-2	敷地面積 19,677 m ² 広場面積 8,500 m ² (野球場 1 面・右翼 76m・左翼 90m)
幡羅生涯学習センター多目的広場	東方 1370	広場面積 2,272 m ²
折之口ふれあい公園多目的広場	折之口 149-1	敷地面積 16,029 m ² ソフトボール 1 面 5,024 m ²
北部運動公園野球場	起会 162	敷地面積 27,868 m ² 両翼 90m・センター 105m 球場面積 10,700 m ²
陸上競技場夜間照明施設	上野台 2569	陸上競技 (サッカー・ラグビー 1 面) 照明面積 10,000 m ² 平均 413LX・最大 550LX・最低 200LX
仙元山野球場夜間照明施設	人見 1134	野球場 1 面 9,381 m ² 平均 263LX・内野 639LX/外野 316LX
仙元山テニスコート夜間照明施設	上野台 2571	テニスコート 1 面 平均 748LX
上柴中央公園夜間照明施設	上柴町西 4-1-1	野球場 1 面 9,545 m ² 平均 276LX・内野 700LX/外野 300LX
深谷小学校屋外運動場夜間照明施設	仲町 19-1	ソフトボール 2 面 照明面積 9,000 m ² A = 40 灯・B = 32 灯・平均 238LX
八基小学校屋外運動場夜間照明施設	下手計 1300	ソフトボール 1 面 照明面積 5,672 m ² 24 灯・102LX
深谷西小学校屋外運動場夜間照明施設	栄町 14-18	ソフトボール 1 面 照明面積 4,500 m ² 26 灯・160LX
東方公園夜間照明施設	東方町 2-23	ソフトボール 1 面 7,420 m ² 全照明平均 232LX・内野 370LX/外野 210LX 半照明平均 123LX
明戸農村公園夜間照明施設	上増田 1055-2	野球場 1 面 8,500 m ² 全照明 = 69 灯・内野 500LX/外野 206LX 半照明 = 32 灯・内野 394LX/外野 103LX
北部運動公園夜間照明施設	起会 162-1	野球場 1 面 10,700 m ² 全照明 = 96 灯・内野 650LX/外野 310LX
常盤公園テニスコート	常盤町 58-2	敷地面積 1,970 m ² グリーンダストコート 3 面
幡羅生涯学習センターテニスコート	東方 1370	ハードコート 2 面 1,666 m ²
折之口ふれあい公園テニスコート	折之口 149-1	敷地面積 16,029 m ² 人工芝コート 2 面 1,400 m ²
仙元荘ゲートボール場	上野台 2547	敷地面積 3,300 m ² ゲートボール 4 面 1,200 m ²
柴崎公園ゲートボール場	上柴町東 2-24-1	敷地面積 15,755 m ² ゲートボール 2 面 1,050 m ² (42m×25m)

施設名	所在地	施設の概要
北部運動公園ゲートボール場	起会 162-1	敷地面積 27,868 m ² ゲートボール 2 面 600 m ² (40m×24m)
折之口ふれあい公園ゲートボール場	折之口 149-1	敷地面積 16,029 m ² ゲートボール 2 面 1,040 m ²
すぱーく深谷	沼尻 484-1	敷地面積 4,453 m ² 建物面積 ・屋内ゲートボール場床面積 1,100.21 m ² ・クラブハウス床面積 79.86 m ² 屋内ゲートボール場 2 面 (全天候型・照明施設)
すぱーく岡部	後榛沢 972-1	敷地面積 10,832.80 m ² 建物面積 ・屋内ゲートボール場床面積 1,100.21 m ² ・クラブハウス床面積 79.86 m ² 屋内ゲートボール場 2 面 (照明施設)
深谷グリーンパーク アクアパラダイス・パティオ	榎合 763	敷地面積 54,000 m ² 波のプール・渚プール・流れるプール こどもプール・スピニングスライダー (2 基) ウエットサウナ・ドライサウナ ジャグジー・競泳用 25m プール
岡部 B&G 海洋センター	山河 1300	敷地面積 4,753 m ² 建物面積 体育館 1,103 m ² アリーナ 726 m ² (バレーボール 2 面・バスケットボール 2 面・ バドミントン 3 面) ミーティングルーム 63 m ² プール 738 m ² (25m プール、幼児用) 休止
中瀬グラウンド	中瀬 726-1	多目的広場 敷地面積 5,000 m ²
岡部中央グラウンド	山河 1-1	敷地面積 34,862 m ² (ナイター設備 2 基) 野球場 2 面、ソフトボール 4 面、サッカー 1 面
岡部東グラウンド	普済寺 63-1	敷地面積 12,580 m ² 野球場 1 面、ソフトボール 1 面
岡部中央公園	山河 1317-1	敷地面積 1,510.30 m ² 人工芝テニスコート 2 面
川本天神グラウンド	菅沼 1055	敷地面積 31,276 m ² 人工芝テニスコート 2 面、野球場 多目的グラウンド (サッカー等)
白草台運動公園	白草台 1565-3	敷地面積 23,549 m ² 野球場、テニスコート (ハードコート) 3 面
川本グラウンド・ゴルフ場	本田 501 番地先	敷地面積 40,000 m ² 芝コート 8 面、土コート
上本田グラウンド	本田 4892-1	敷地面積 18,038 m ² 野球場 1 面
川本農業者トレーニングセンター	畠山 1577	敷地面積 3,976.00 m ² 建物面積 1,228.84 m ² アリーナ 959.67 m ²

施設名	所在地	施設の概要
花園総合運動公園	小前田 2299-1	敷地面積 46,768 m ² 多目的広場 12,800 m ² (300mトラック、サッカー場、ソフトボール2面) 野球場 9,900 m ² テニスコート 1,592 m ² (人工芝ナイター設備あり) ゲートボール場 582 m ²
花園農業者トレーニングセンター	小前田 2299	アリーナ 936 m ² バスケットボール2面、バレーボール2面 バドミントン3面
花園水辺公園	小前田 396-11 (荒川河川敷)	全体面積 27,600 m ² 多目的ゾーン 9,700 m ²

◆各施設の予約は「深谷市公共施設予約システム」からできます。（一部施設は除く）

深谷市公共施設予約システム：<http://www.city.fukaya.saitama.jp/shisetsu/yoyaku/1391748906315.html>



